
令和6年度
自治会・町内会の業務効率化に向けた状況調査
調査結果【詳細版】

令和7年3月
市民生活部 市民協働課

I 調査概要

1. 調査の目的

- ・少子高齢化や人口減少、ライフスタイルの変化により、多くの自治会・町内会が運営に係る負担の増大、役員の担い手不足、活動者の減少といった課題を抱えています。
- ・本市では、こうした自治会・町内会の負担軽減策の一つとして、スマートフォン、パソコンなどの電子機器や、インターネットなどの情報通信技術（以下、ICTという）の活用に向けた支援のあり方について検討しています。
- ・本調査は、自治会・町内会におけるICT活用の状況や導入の意向を確認するとともに、今後の支援の基礎資料とするため、会長職や役員に関すること、活動の状況についてお聞きしました。

2. 調査の設計

- (1) 対象者：市内のすべての自治会長・町内会長 2,053名
- (2) 調査方法：郵送法（調査票の配付、回収とも）、電子回答あり、無記名
- (3) 調査期間：令和6年8月19日～9月17日
- (4) 配付数・回収数・回収率

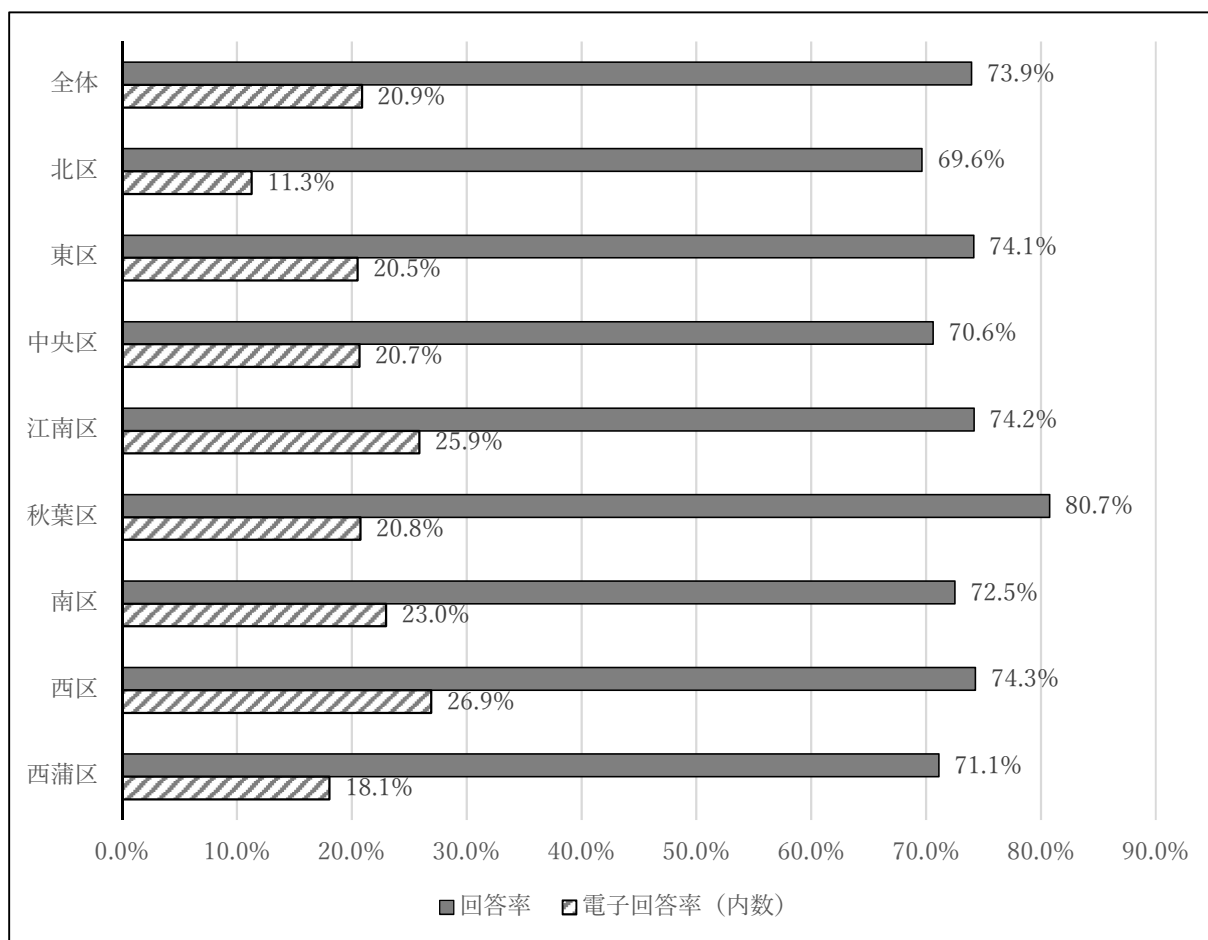
配付数	回収数	回答率
2,053	1,518	73.9%※

※区別の回答率は、図1のとおり

3. 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは回答者総数（または該当者質問での該当者数）のことで100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数です。
- (2) 結果は百分率（%）で表示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した結果、個々の比率が合計100%にならないことがあります。
- (3) 本文及び図表中、意味をそこなわない範囲で簡略化した選択肢があります。

図1 区別回答率 (n=2,053)



【全体結果】

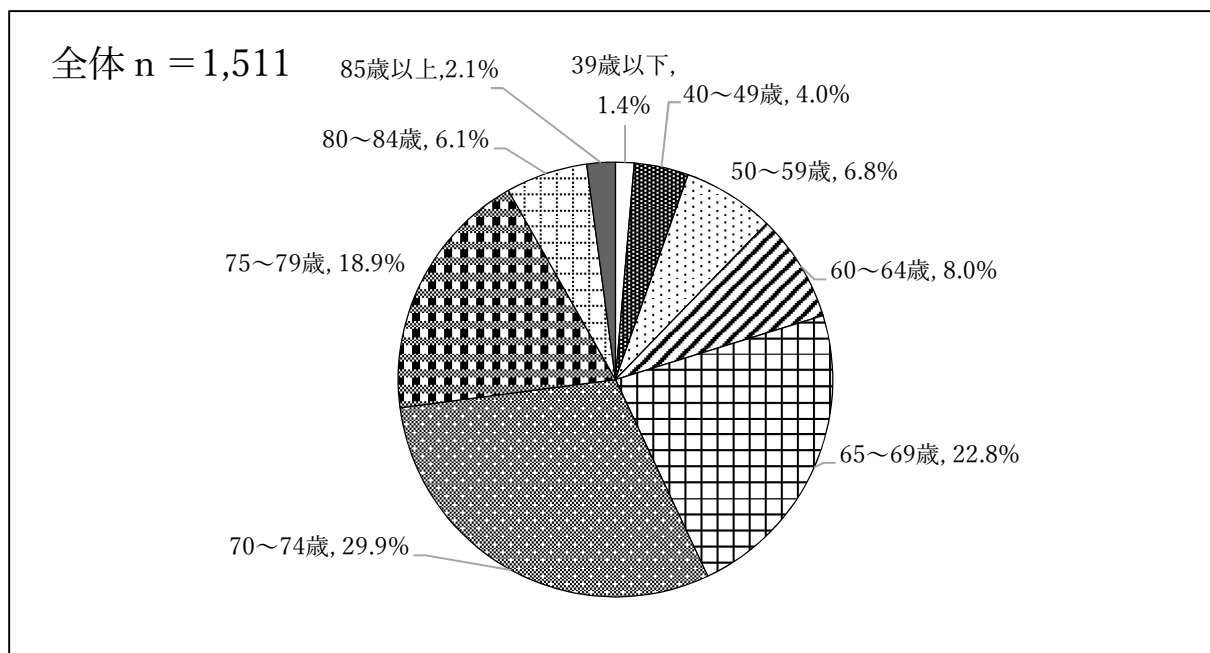
無記名調査としたことで、7割を超える回答が集まった。区別では、秋葉区がトップで8割を超え、電子回答は西区が一番多く26.9%となった。

Ⅱ 調査結果

1. 会長ご自身について

問1. 8月1日現在の会長の年齢と性別をお答えください。
(番号に○をつけてください)

【年齢】



【全体結果】

会長の年齢について、「70～74歳」（29.9%）が最も多く、約3割を占めた。次いで「65～69歳」（22.8%）が約2割を占め、65歳～74歳で半数以上を占めている。一方、50歳代以下は、合計しても1割台となった。

【属性別結果】（図2参照）

① 区別

「50歳代以下」は南区（27.0%）で最も多い。「70～74歳」が、東区（32.6%）、中央区（26.5%）、江南区（32.1%）、秋葉区（37.7%）、西区（30.3%）の5区で最も多くなった。

② 世帯規模別

「30世帯未満」を除く、全ての世帯規模で「70～74歳」が最も多くなった。

③ 在職年数別

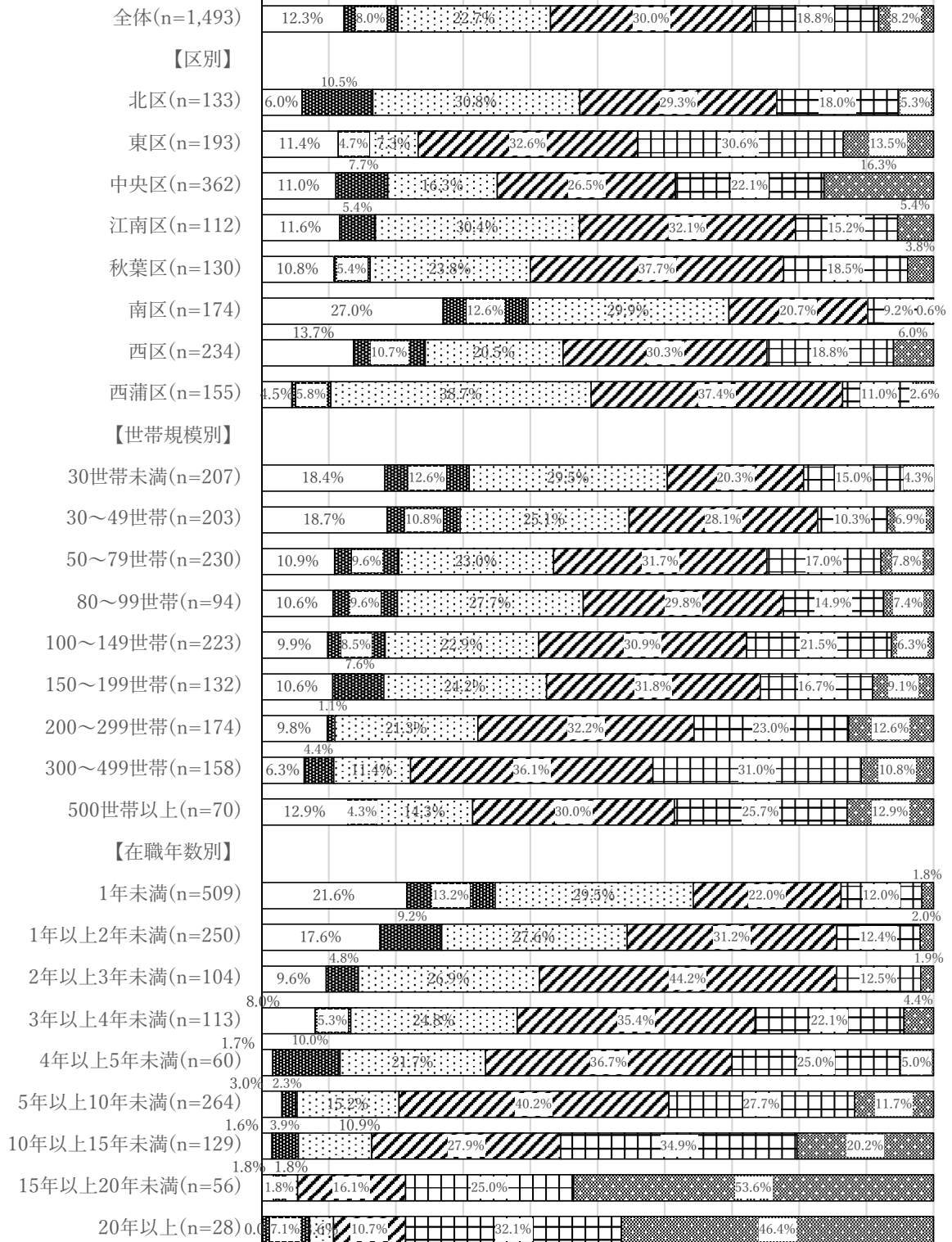
50歳代の割合は「1年未満」（21.6%）、が最も多い。15年以上在職では、「80歳代以上」（53.6%、46.4%）が最も多くなった。

图 2

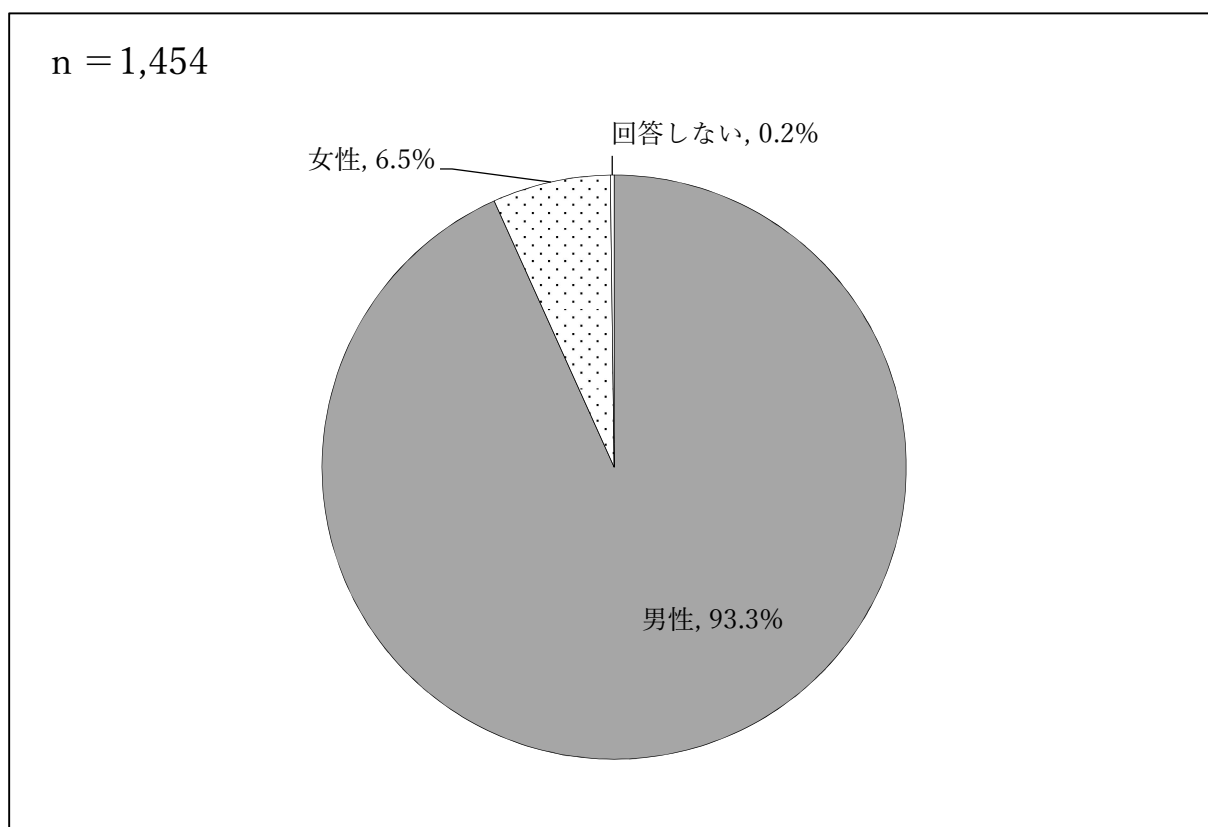
【年齢（属性別）】

□50歳代以下 ■60～64歳 ▨65～69歳 ▩70～74歳 □75～79歳 ▩80歳代以上

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



【性別】



【全体結果】

性別について、「男性」(93.3%)が9割以上を占めた。

【属性別結果】(図3参照)

① 区別

女性回答率は、中央区(10.9%)が最も多い。

② 世帯規模別

女性回答率は、30～49世帯(10.0%)が最も多い。

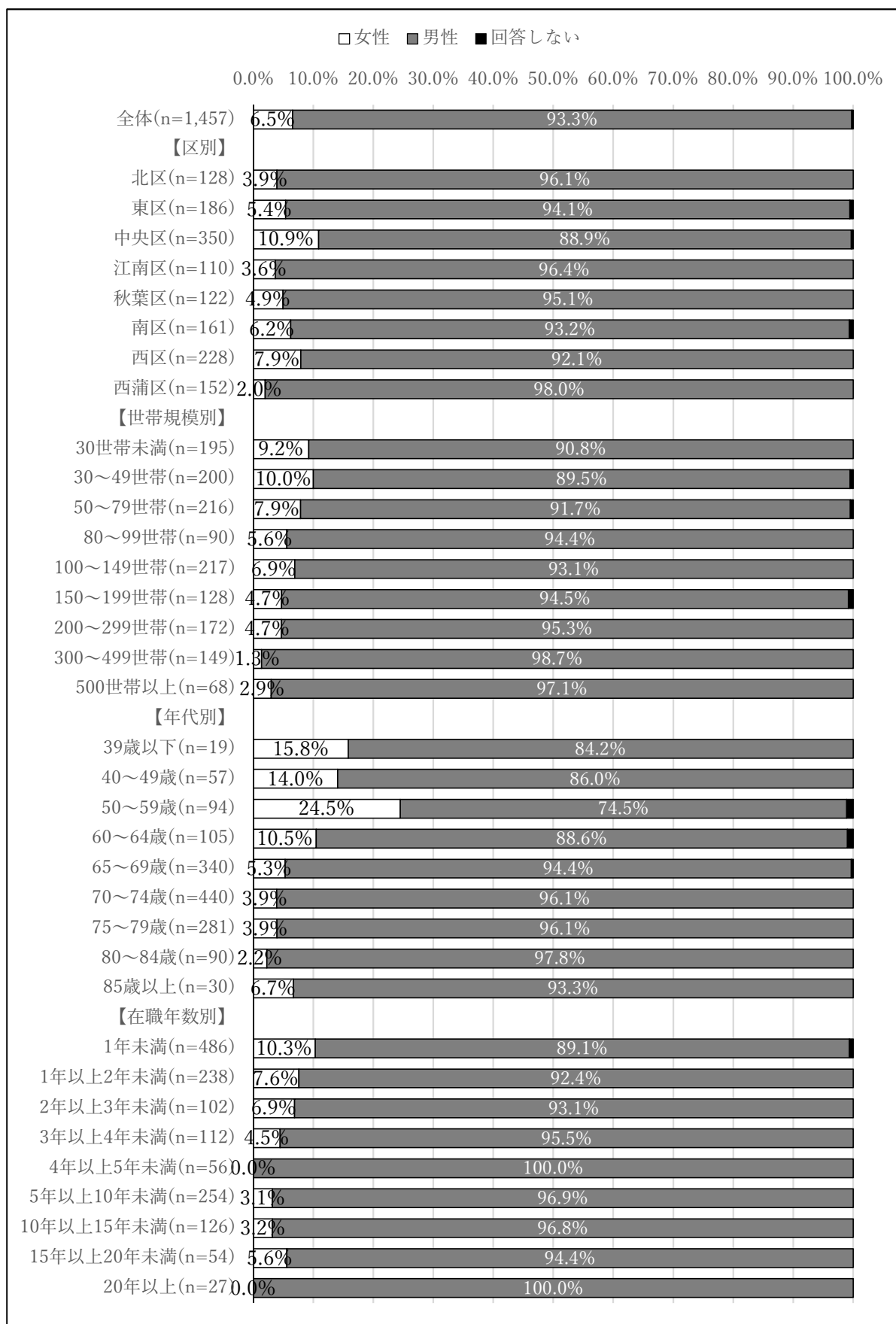
③ 年代別

女性回答率は、50～59歳(24.5%)が最も多い。

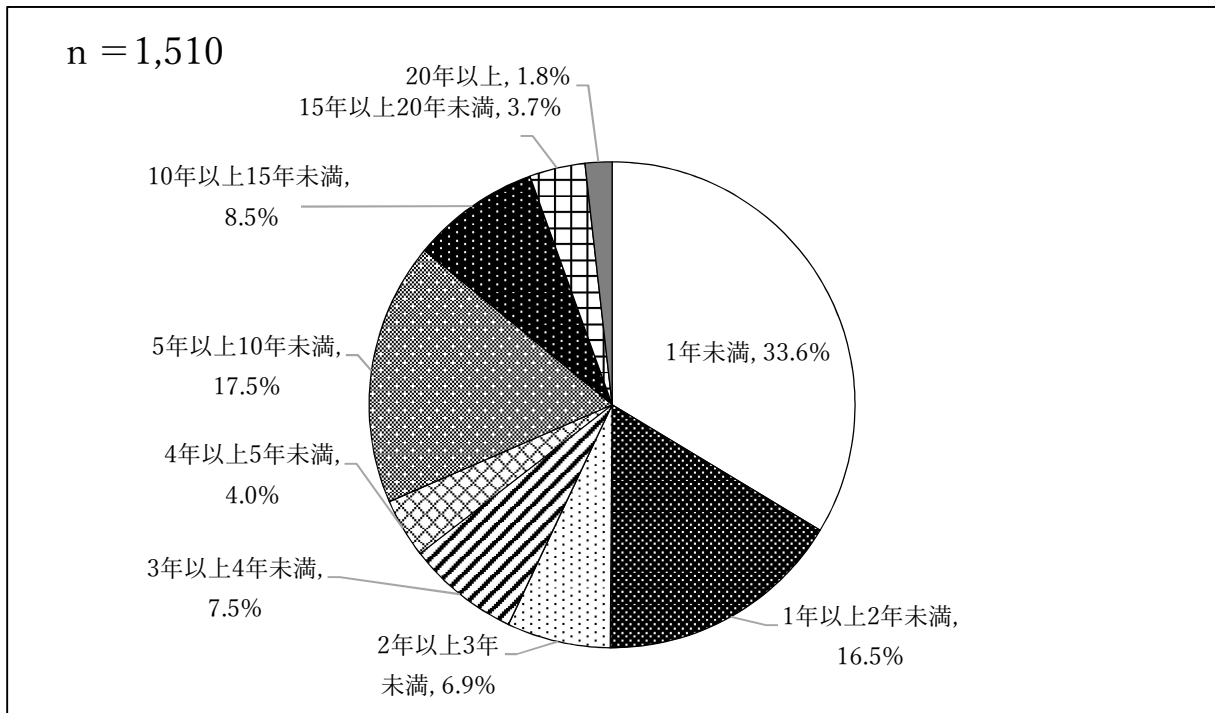
④ 在職年数別

女性回答率は、1年未満(10.3%)が最も多い。

図3



問2. 会長に就任してからの在職年数をお答えください。
(番号に○をつけてください)



【全体結果】

在職年数について、「1年未満」(33.6%)が最も多く、3分の1を占めた。次いで、「1年以上2年未満」(16.5%)となり、2年未満が半数以上となった。一方、5年以上10年未満(17.5%)と「10年以上15年未満」(8.5%)の合計が、4分の1以上を占めている。

【属性別結果】(図4参照)

① 区別

東区、中央区を除く6区で、「1年未満」が最も多く、南区(56.9%)が最も多い。

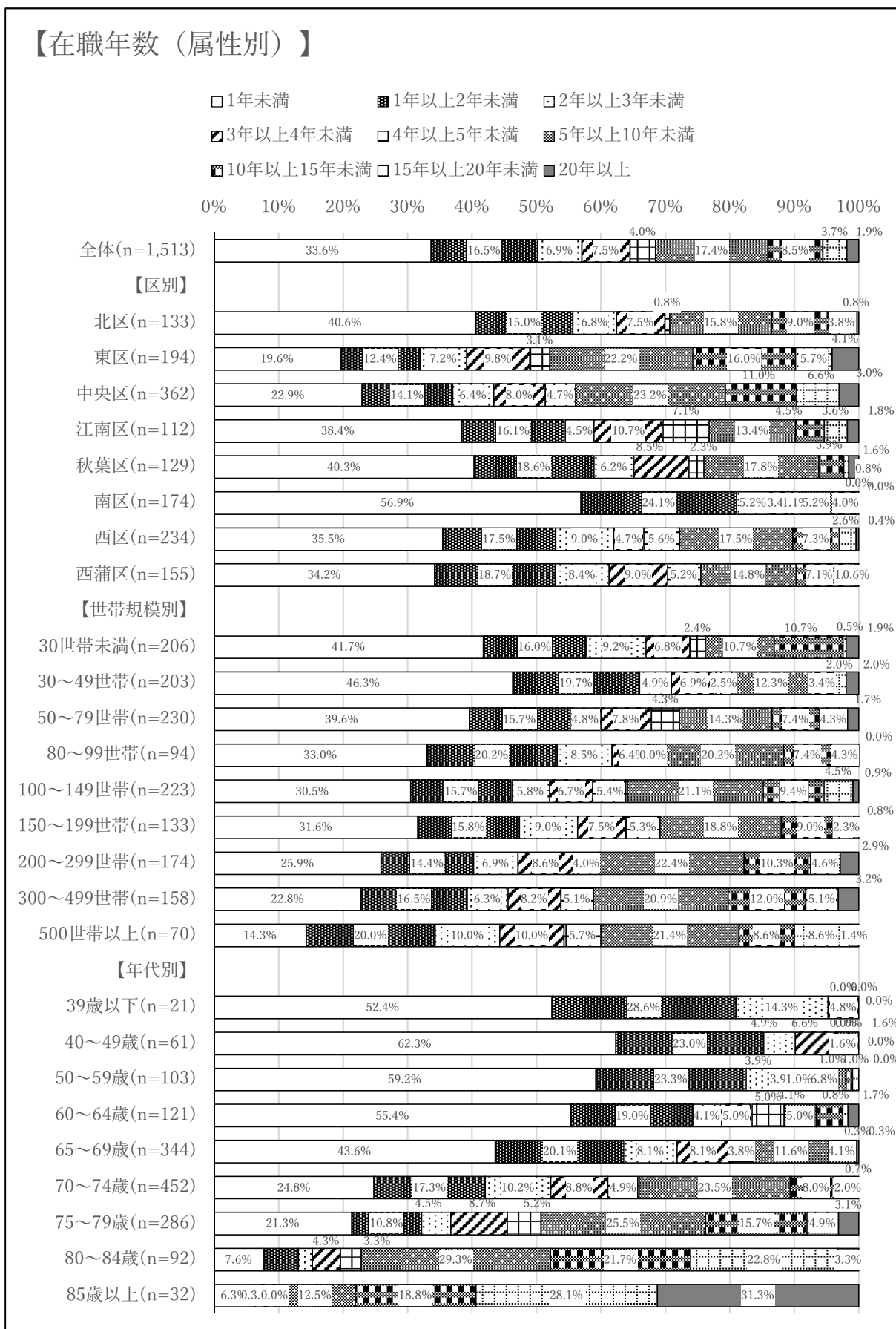
② 世帯規模別

500世帯以上を除くすべての世帯規模で「1年未満」が最も多く、30~49世帯(46.3%)が最も多い。

③ 年代別

74歳以下の年代では、「1年未満」が最も多く、40~49歳(62.3%)が最も多い。85歳以上では「20年以上」(31.3%)が最も多い。

图 4

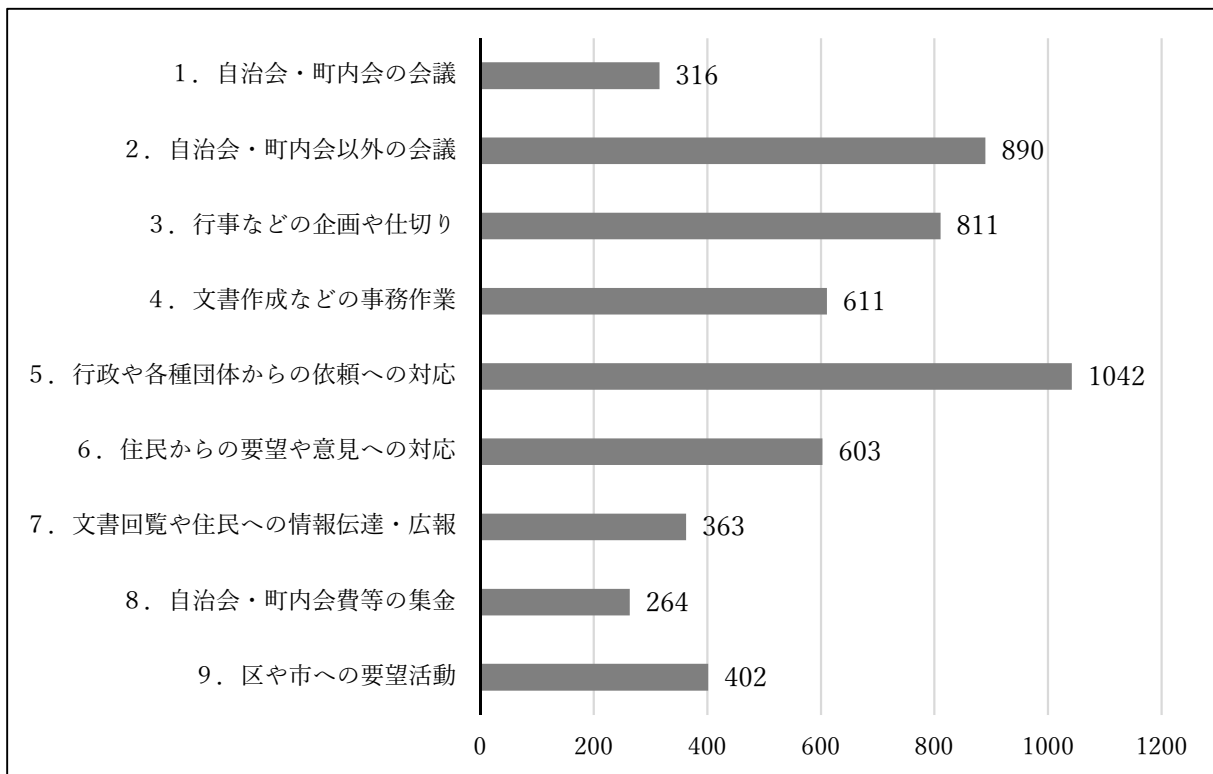


問3. 自治会長・町内会長としてのご苦勞や負担についてお答えください。

1) 以下の項目でご苦勞や負担を感じていますか。項目ごとに該当する欄に○を1つ付けてください。

※次の配点により点数化して比較した。(点数が高いほどご苦勞や負担が大きい)

とても感じる	2点
どちらかというと感じる	1点
どちらとも言えない	0点
どちらかというと感じない	-1点
ほとんど感じない	-2点



【全体結果】

ご苦勞や負担について、「行政や各種団体からの依頼への対応」(1,042点)が最も高く、「自治会・町内会費等の集金」(264点)が最も低くなった。負担を「感じない」という回答より「感じる」という回答の方が多数を占めた。

【属性別結果】（図5参照）

① 区別

各設問で、「秋葉区」や「南区」で負担を感じている割合が高い。

② 世帯数別

顕著な傾向は示されていない。

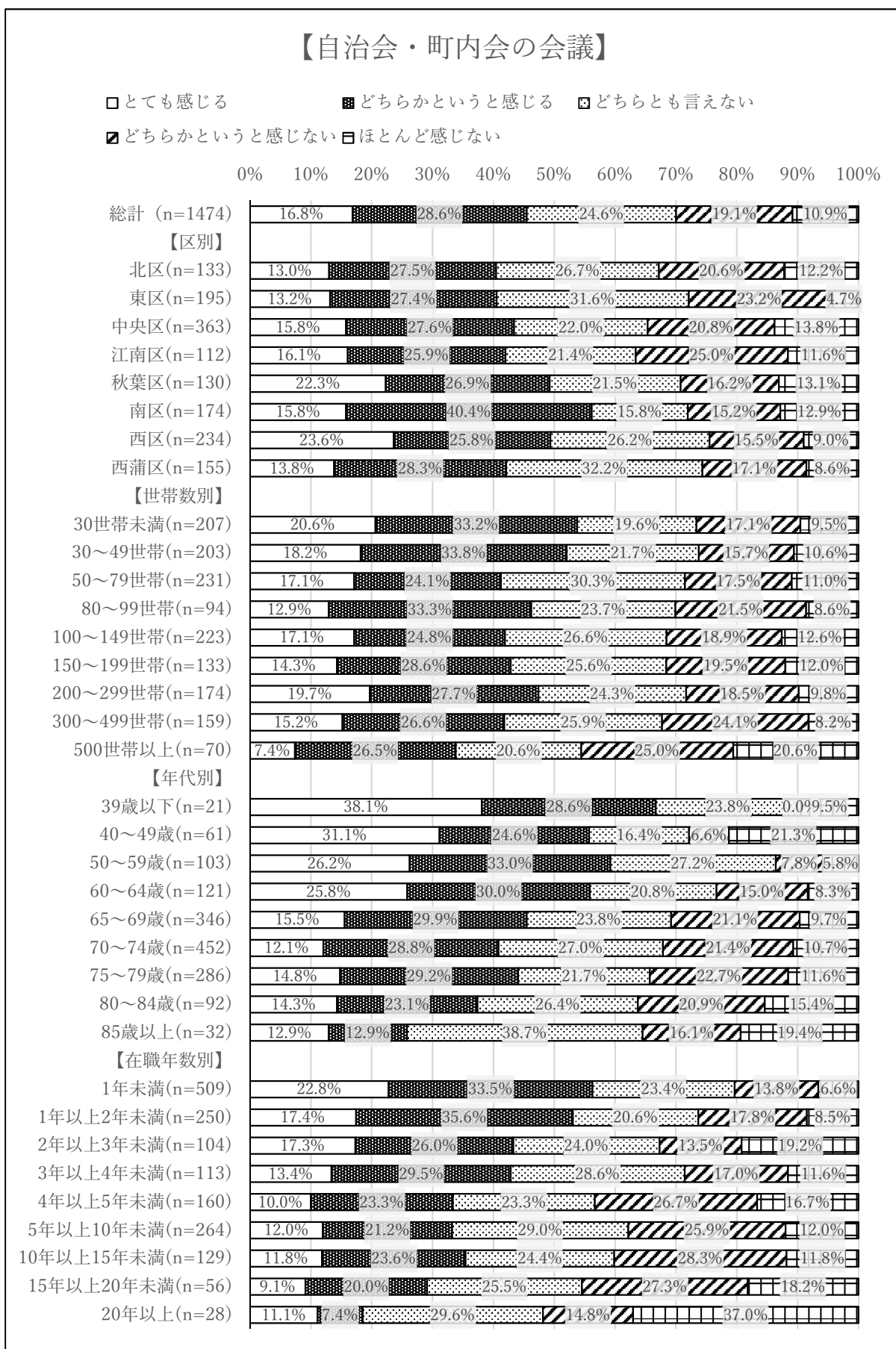
③ 年代別

全体の傾向として、若年層ほど負担を感じている割合が高く、高齢層になるほど負担を感じている割合が減少している。文書作成や集金など一部の設問では、年代が高い方が負担に感じる割合が高くなった。

④ 在職年数別

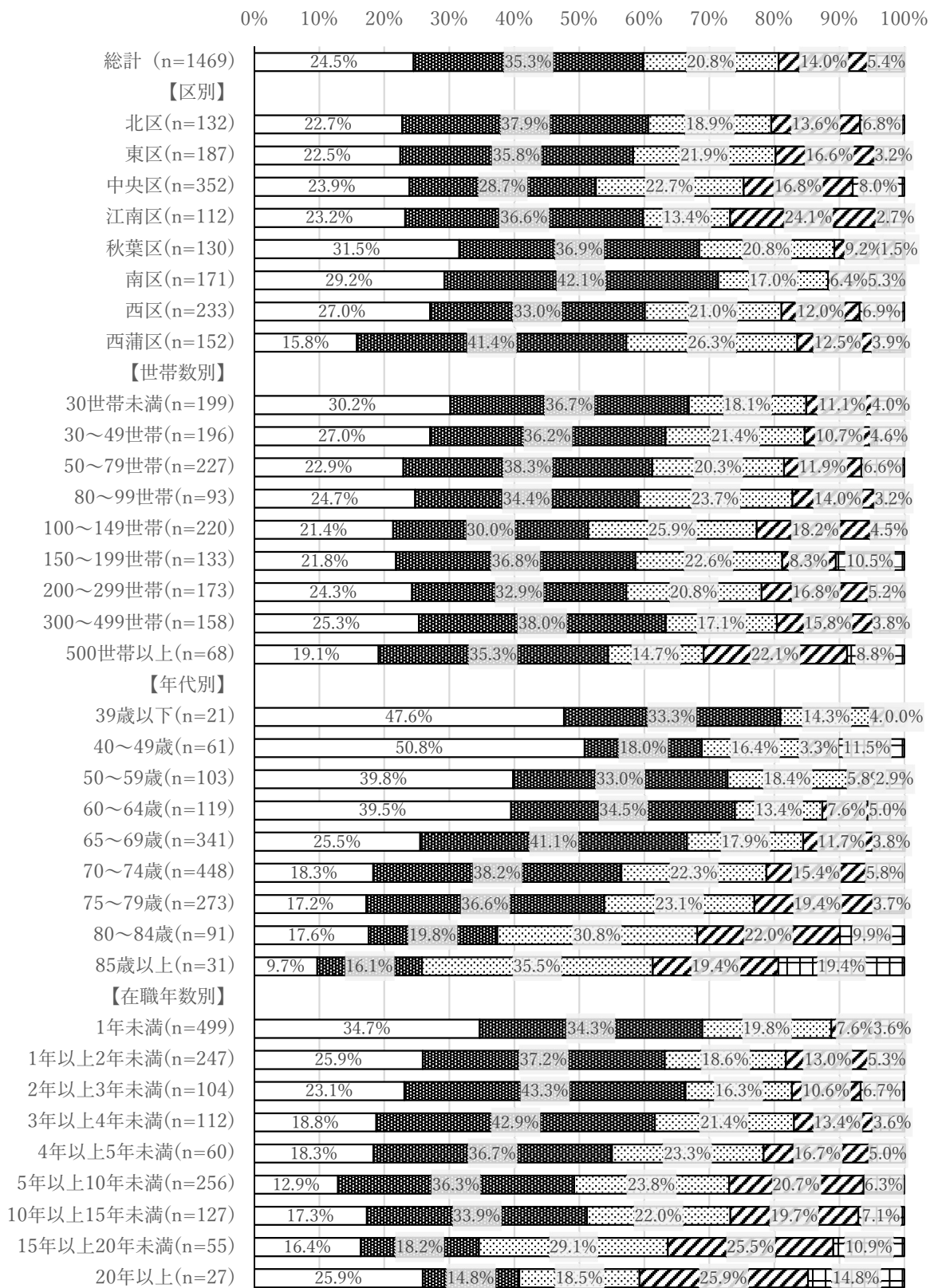
全体の傾向として、在職年数が短いほど負担を感じている割合が高く、長いほど負担を感じている割合が減少している。文書作成や集金など一部の設問では、在職年数が長い方が負担に感じる割合が高くなり、年代別と同様の傾向にあった。

図5



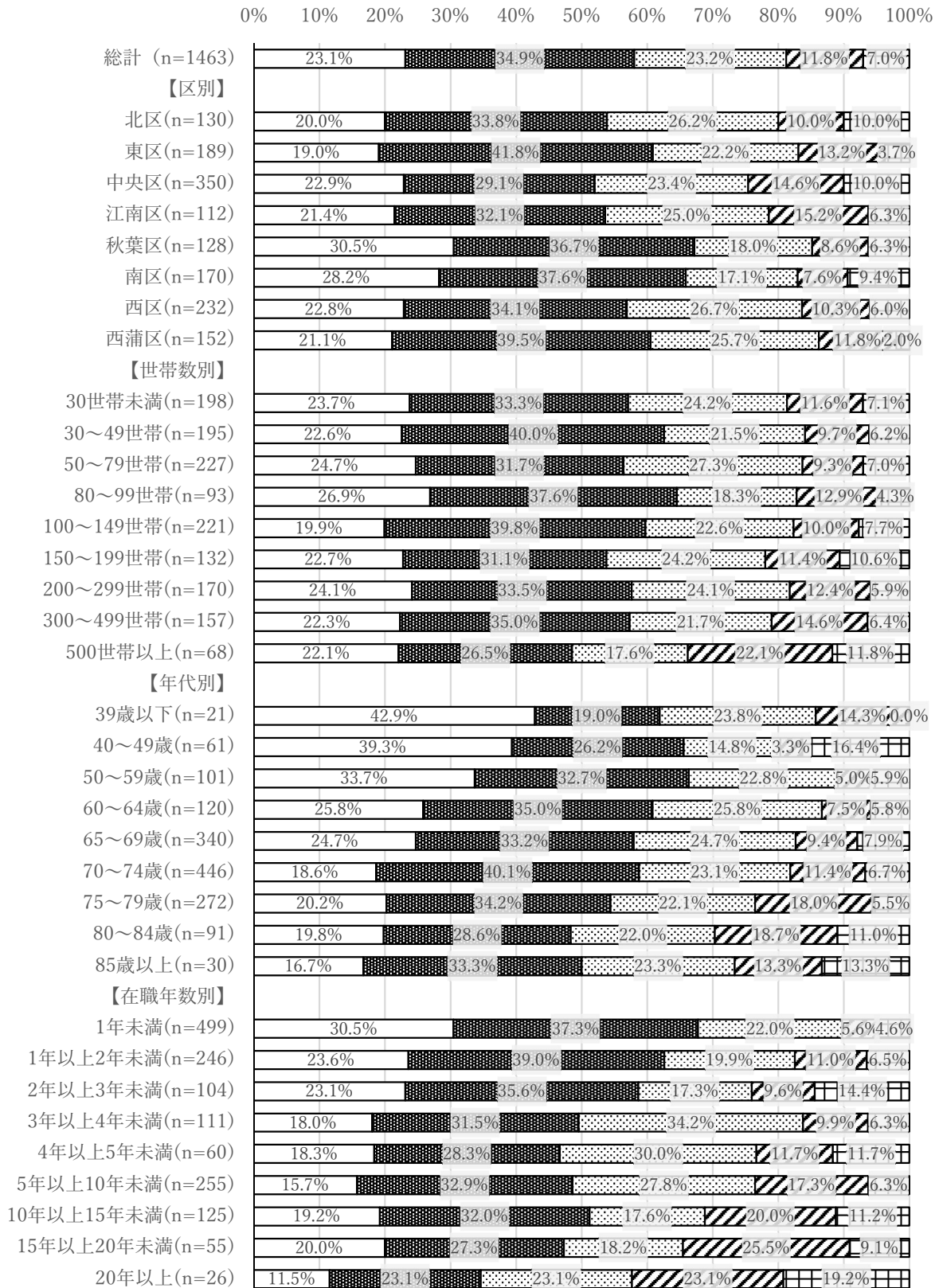
【自治会・町内会以外の会議】

□とても感じる ■どちらかというと感じる ▨どちらとも言えない
 ■どちらかというと感じない □ほとんど感じない

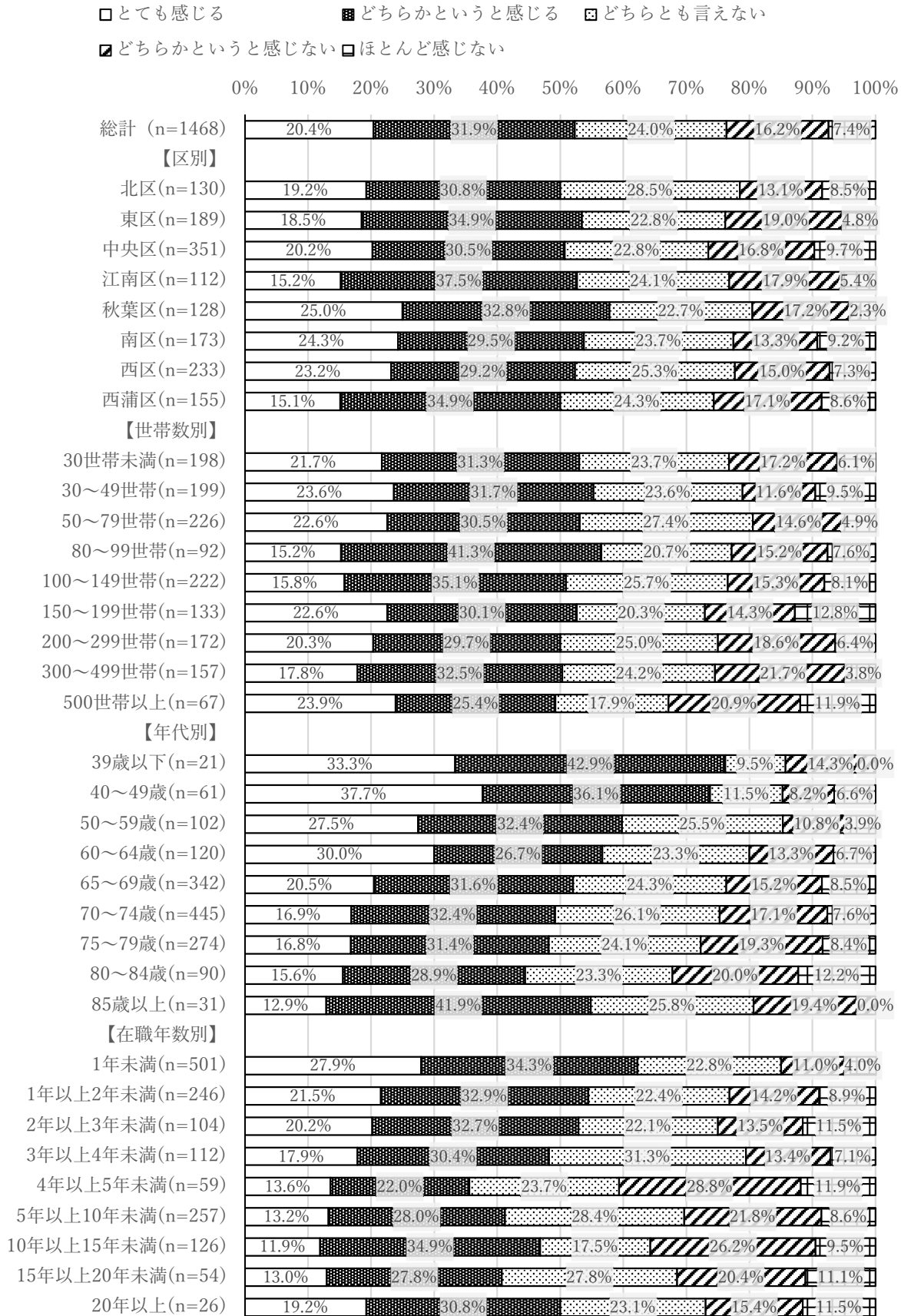


【行事などの企画や仕切り】

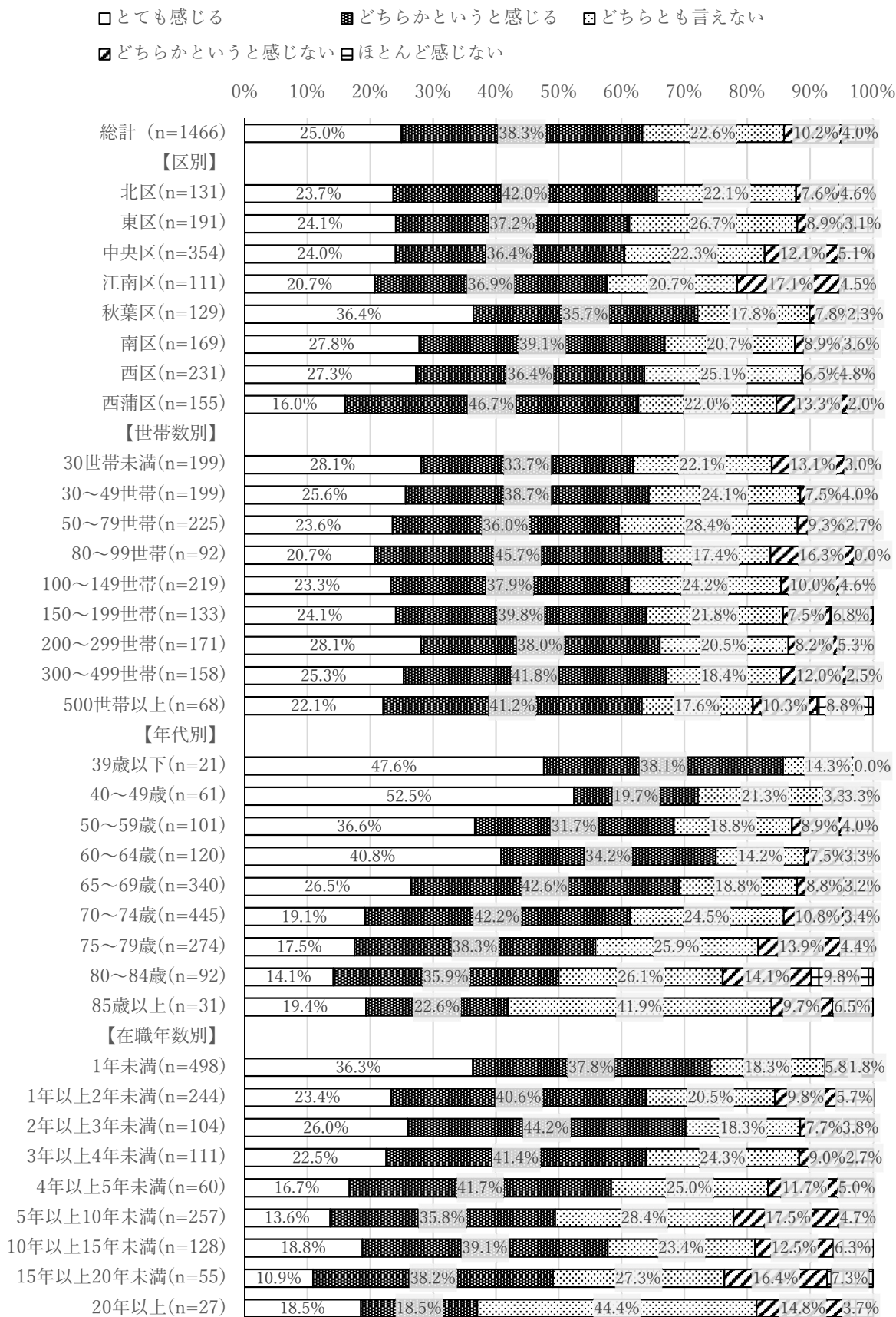
とても感じる どちらかというを感じる どちらとも言えない
 どちらかというと感じない ほとんど感じない



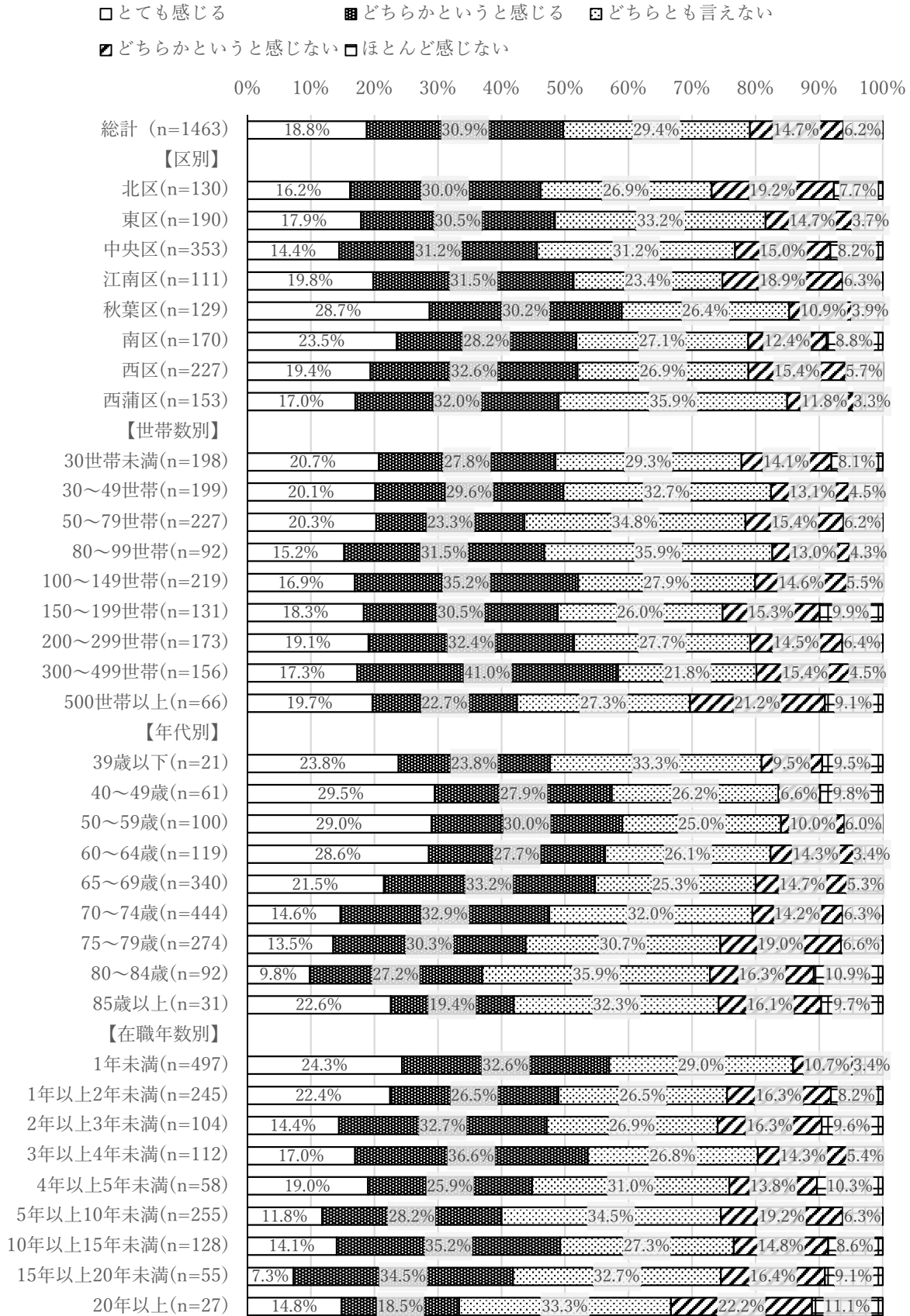
【文書作成などの事務作業】



【行政などからの依頼への対応】

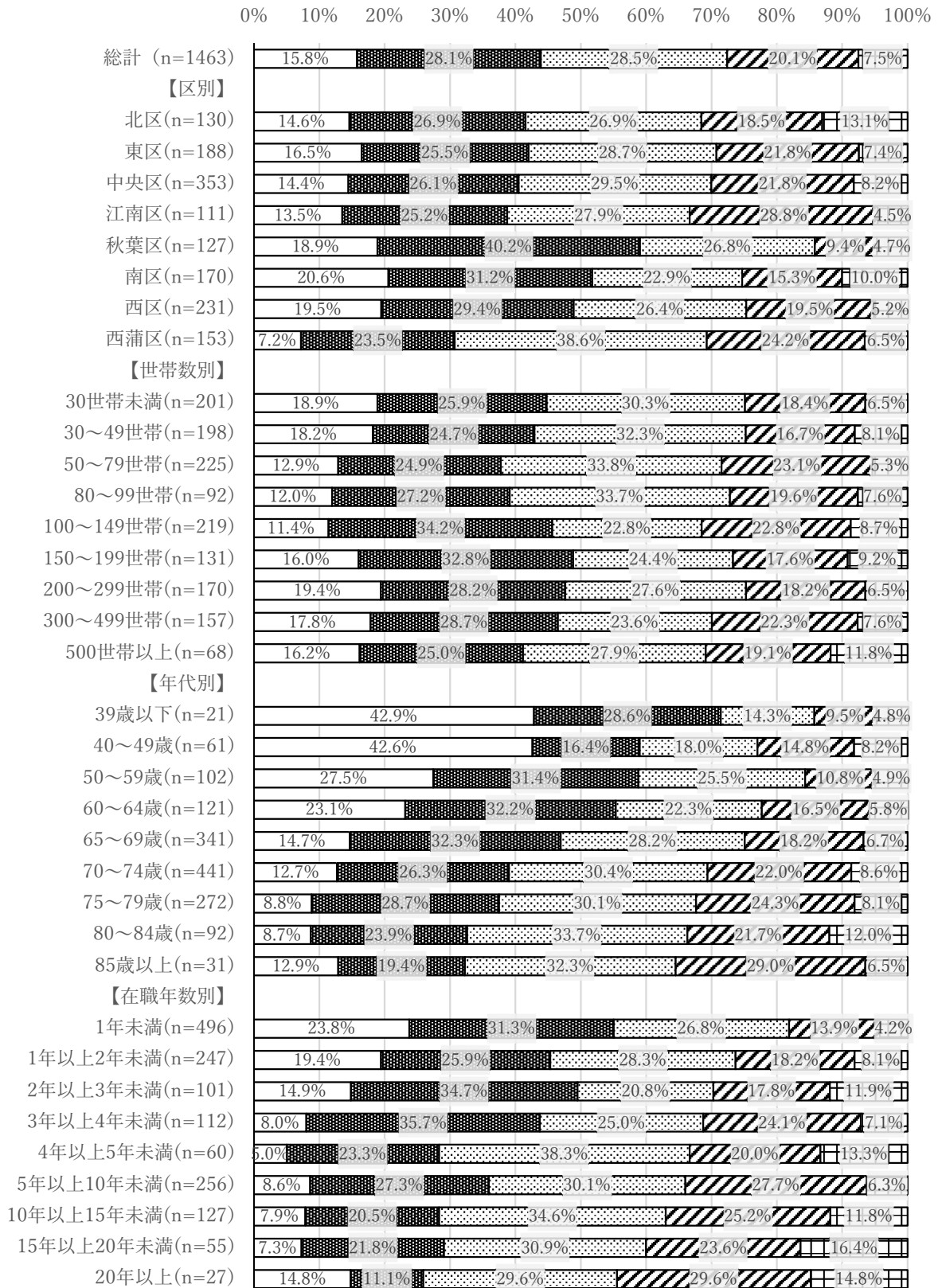


【住民からの要望や意見への対応】



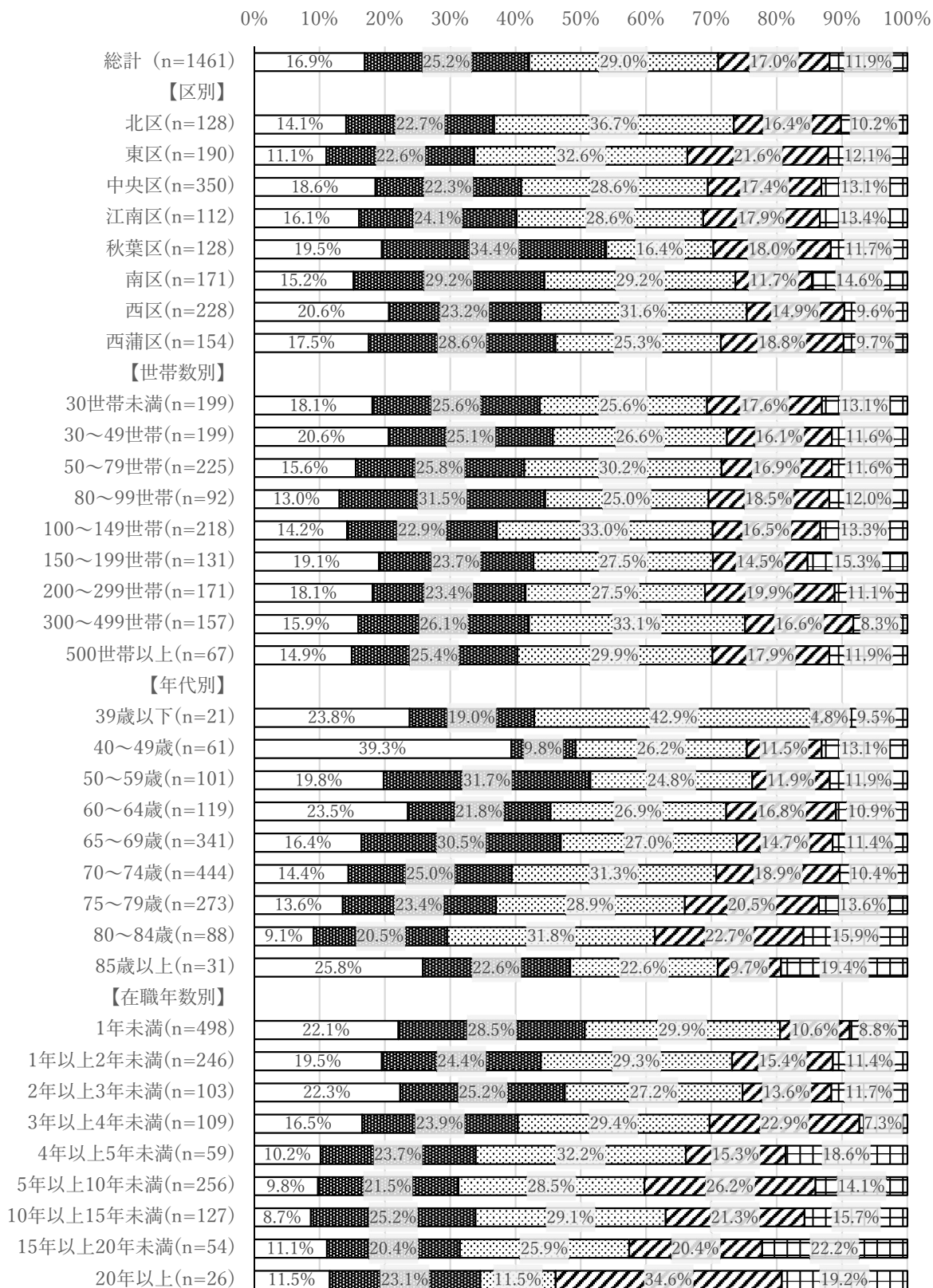
【文書回覧や住民への情報伝達・広報】

とても感じる どちらかというと感じる どちらとも言えない
 どちらかというと感じない ほとんど感じない



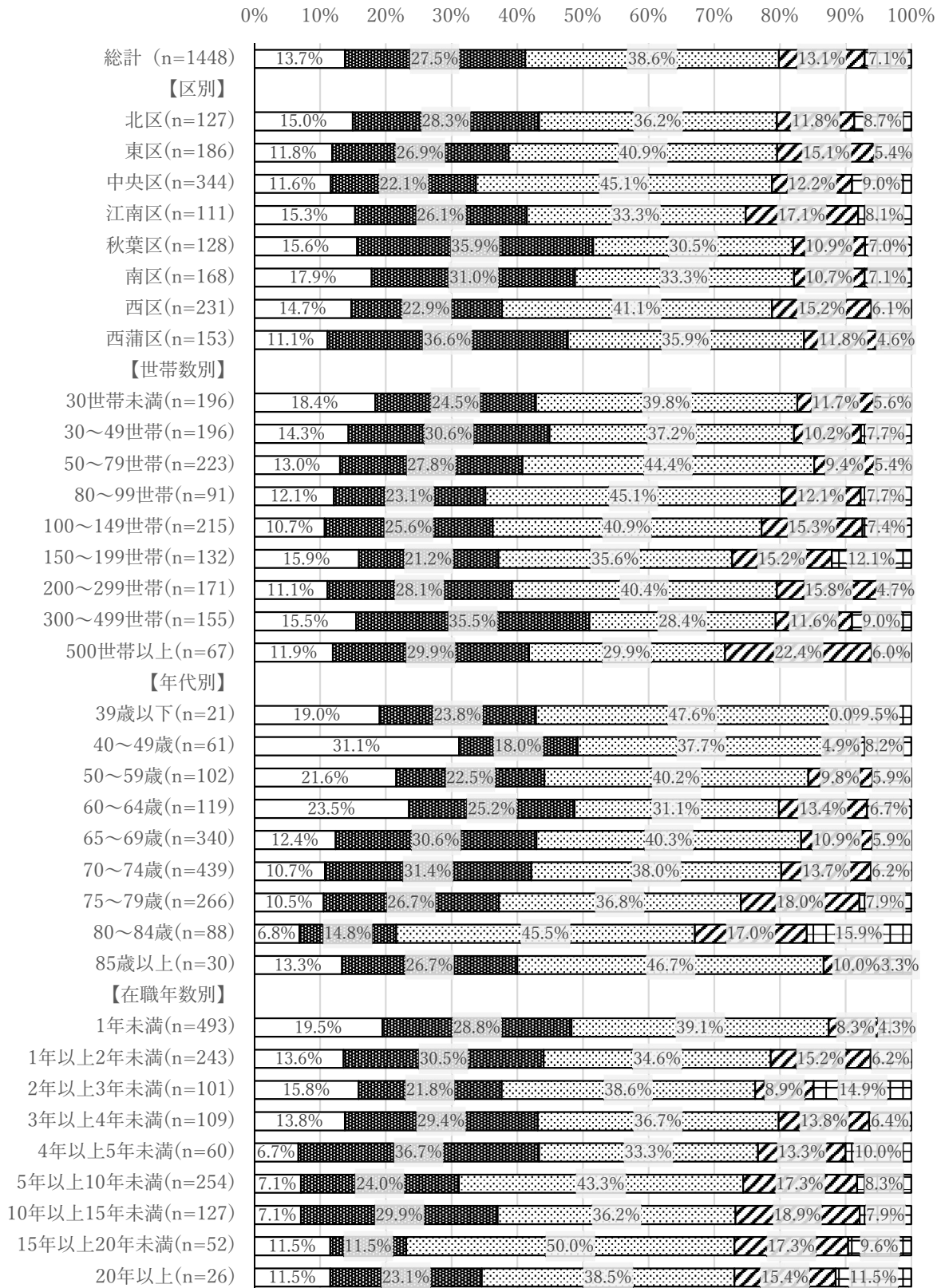
【自治会・町内会費の集金】

とても感じる どちらかというと感じる どちらとも言えない
 どちらかというと感じない ほとんど感じない



【区や市への要望活動】

とても感じる どちらかというと感じる どちらとも言えない
 どちらかというと感じない ほとんど感じない



2. 自治会・町内会の役員や運営について

問4. 役員の数と構成をお答えください。

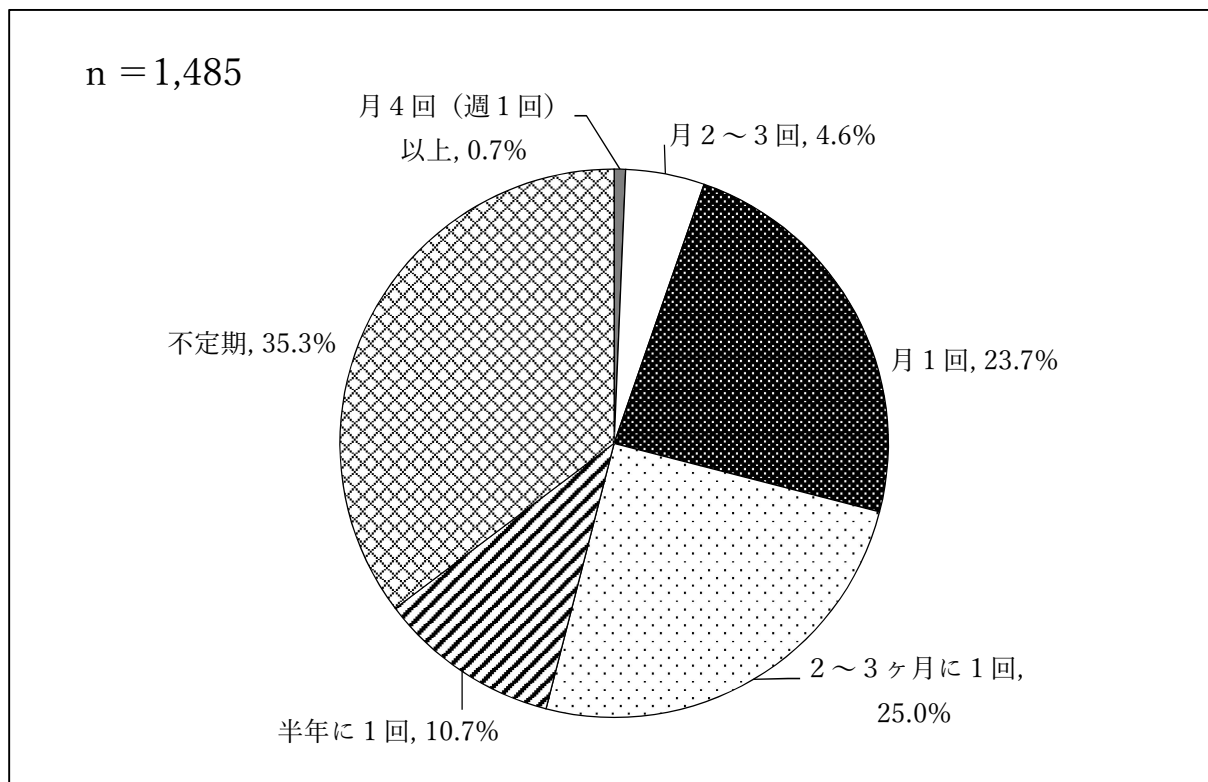
役員数 平均 6.9 人 (うち女性 平均 1.6 人)

【全体結果】

役員数の平均は 6.9 人、うち女性の平均人数は 1.6 人となった。
班長や組長を役員と捉えるかどうかで回答に幅が出ていた。

問5. 役員の定例会議の回数をお答えください。

(番号に○をつけてください)



【全体結果】

役員の定例会議について、「不定期」(35.3%)が3分の1以上を占めた。「2~3ヶ月に1回」(25.0%)、「月1回」(23.7%)と続き、2つの合計が約半数を占めている。

【属性別結果】（図6参照）

①区別

南区（56.7%）のほか、中央区、江南区、西蒲区で「不定期」が最も多くなった。北区、秋葉区は「月1回」、東区、西区は「2～3ヶ月に1回」が最も多い。

②世帯規模別

小規模（79世帯以下）では、「不定期」が最も多く、大規模（200世帯以上）では、「月1回」が最も多くなった。世帯規模が大きいほど定例会議を実施している率が高くなっている。

③年代別

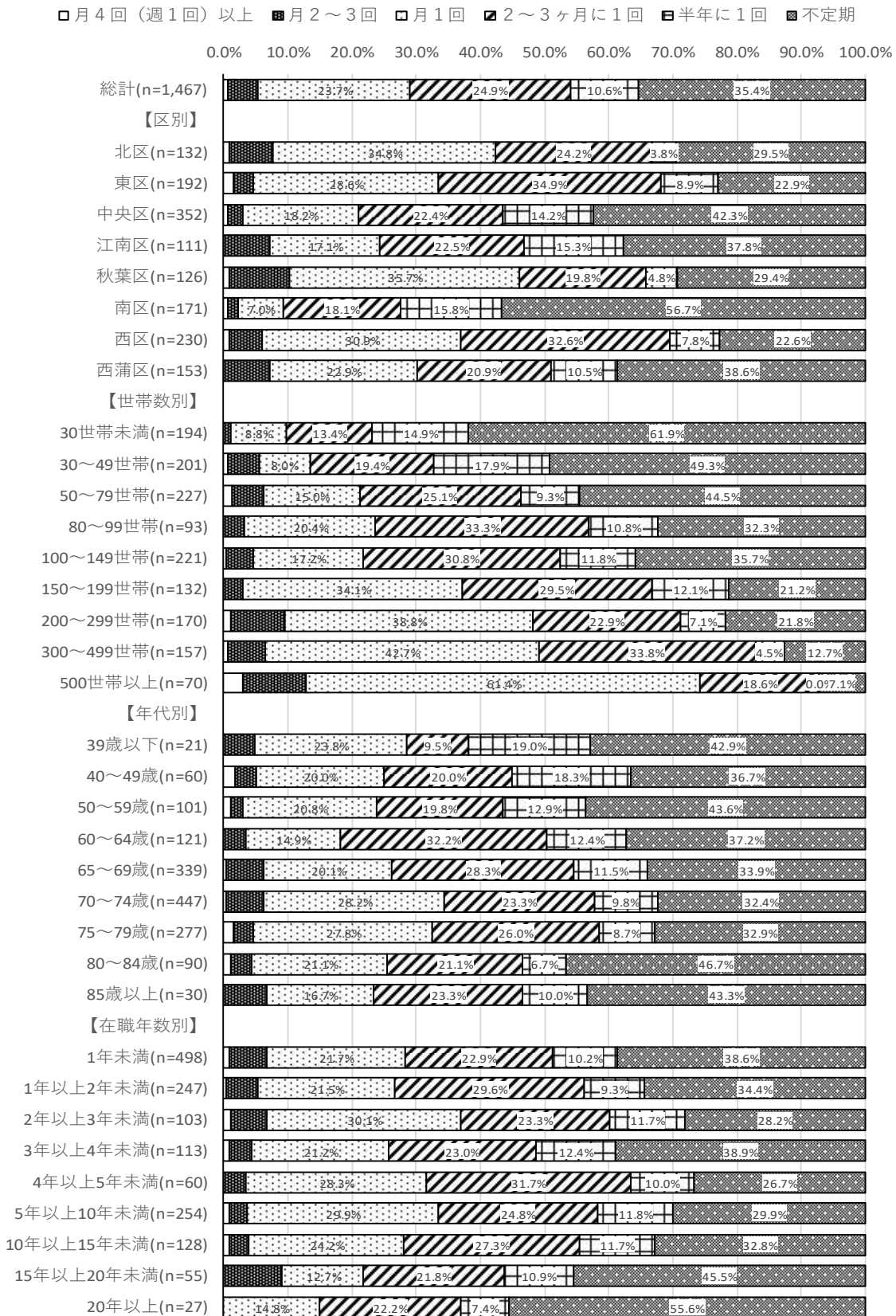
すべての年代で「不定期」が最も多い。

④在職年数別

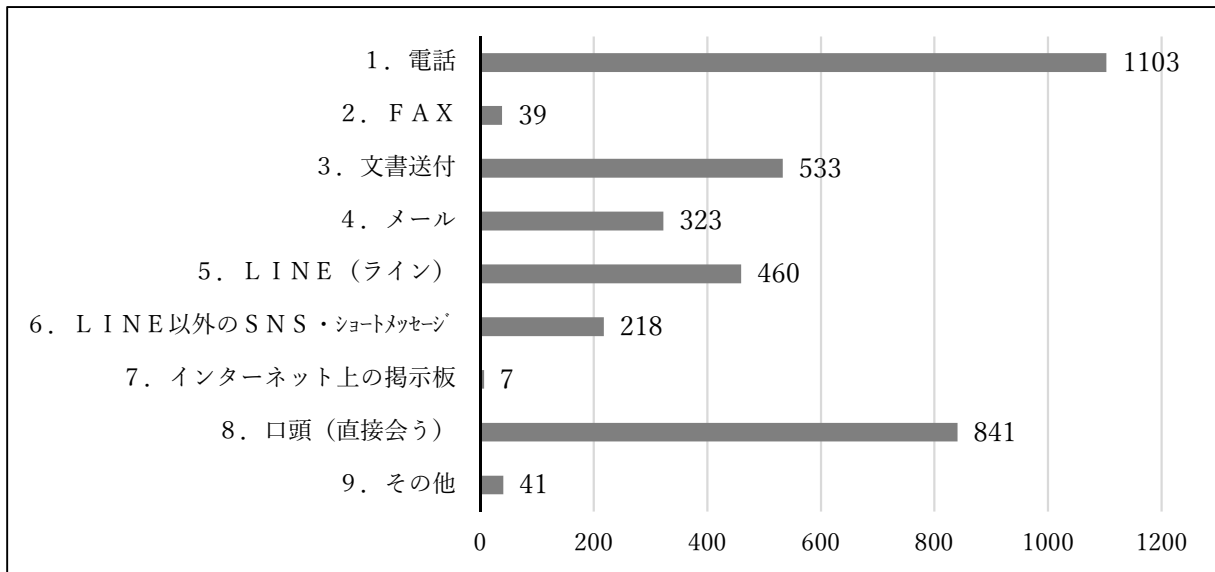
「2年以上3年未満」と「4年以上5年未満」を除くすべての在職年数で、「不定期」が最も多い。

図6

【役員会議の回数（属性別）】



問6. 役員同士の連絡手段として利用しているものを、以下のうち当てはまる番号すべてに○をつけてください。



【全体結果】

役員同士の連絡手段について、昔ながらの「電話」(1,103件)と「口頭(直接会う)」(841件)が上位を占めた。一方、「LINE」(460件)や「メール」(323件)、「SNS・ショートメッセージ」(218件)といった、新しい連絡手段も一定程度浸透している。

【属性別結果】(図7参照)

①区別

すべての区で「電話」が最も多い。

②世帯規模別

すべての世帯規模で「電話」が最も多い。世帯規模が大きいほど「メール」や「LINE」を利用している割合が高い。

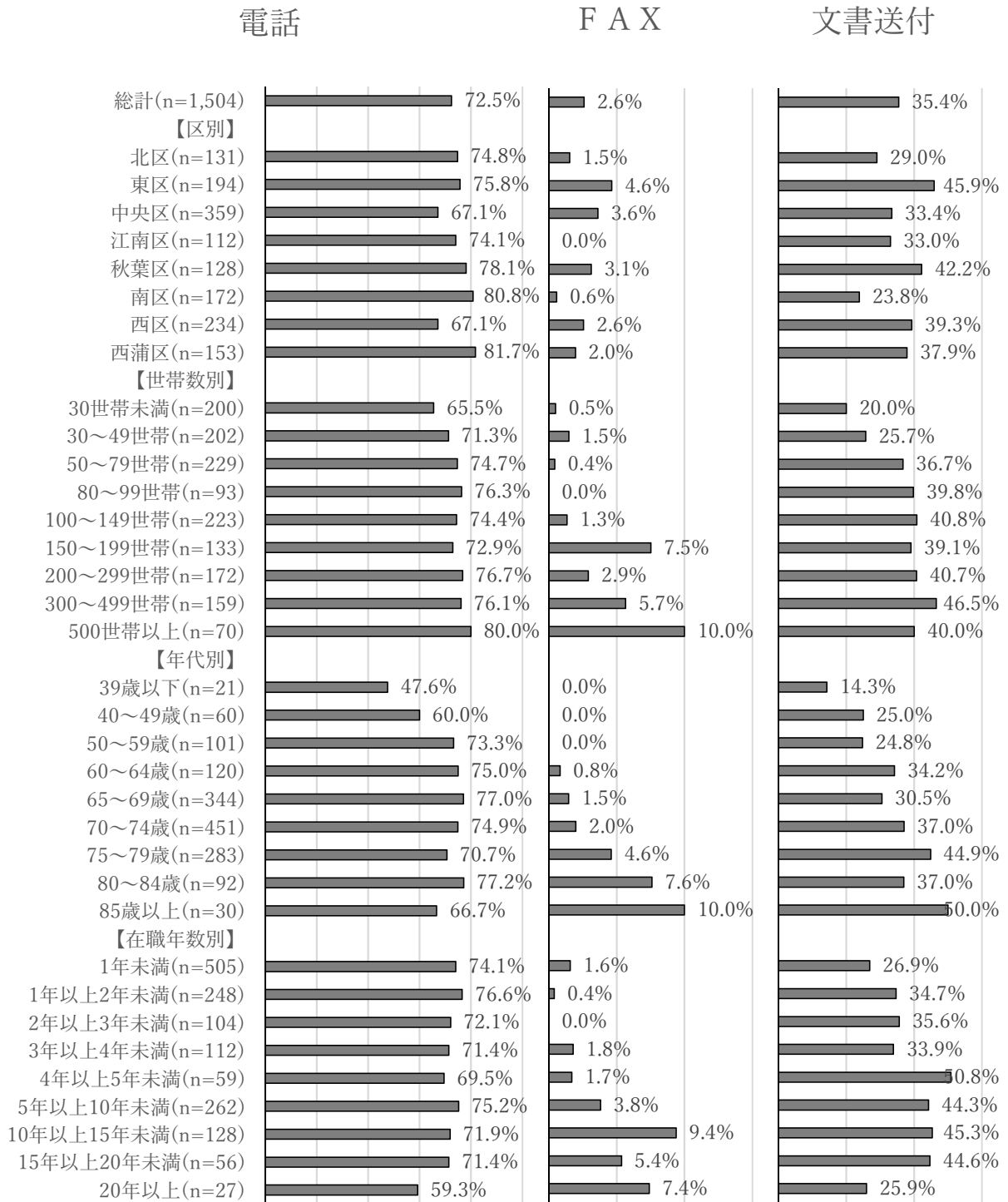
③年代別

39歳以下及び40歳から49歳では、「LINE」が最も多い。85歳以上では、「口頭」が最も多い。その他の年代では「電話」が最も多い。

④在職年数別

すべての在職年数で「電話」が最も多い。

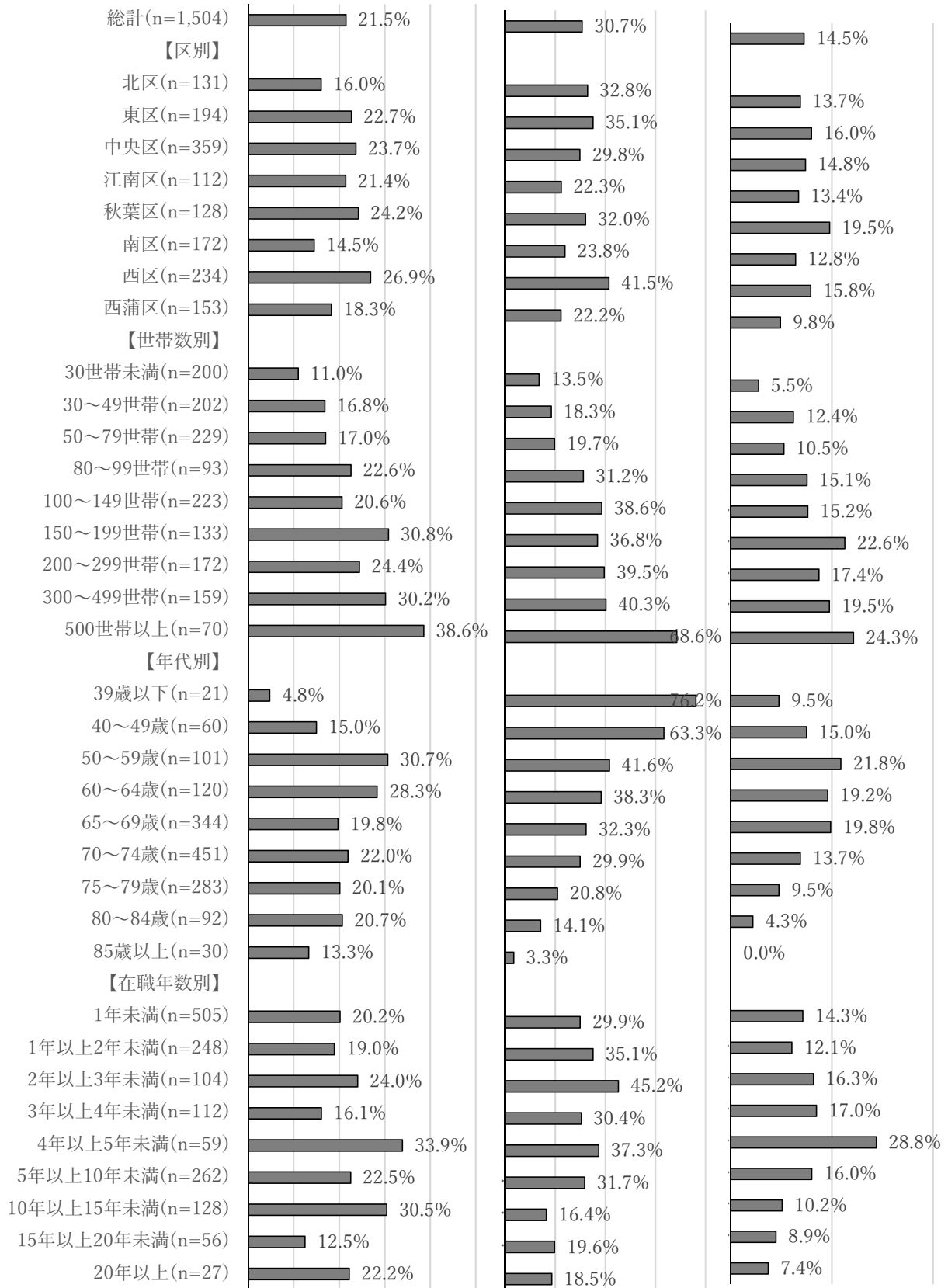
图7



メール

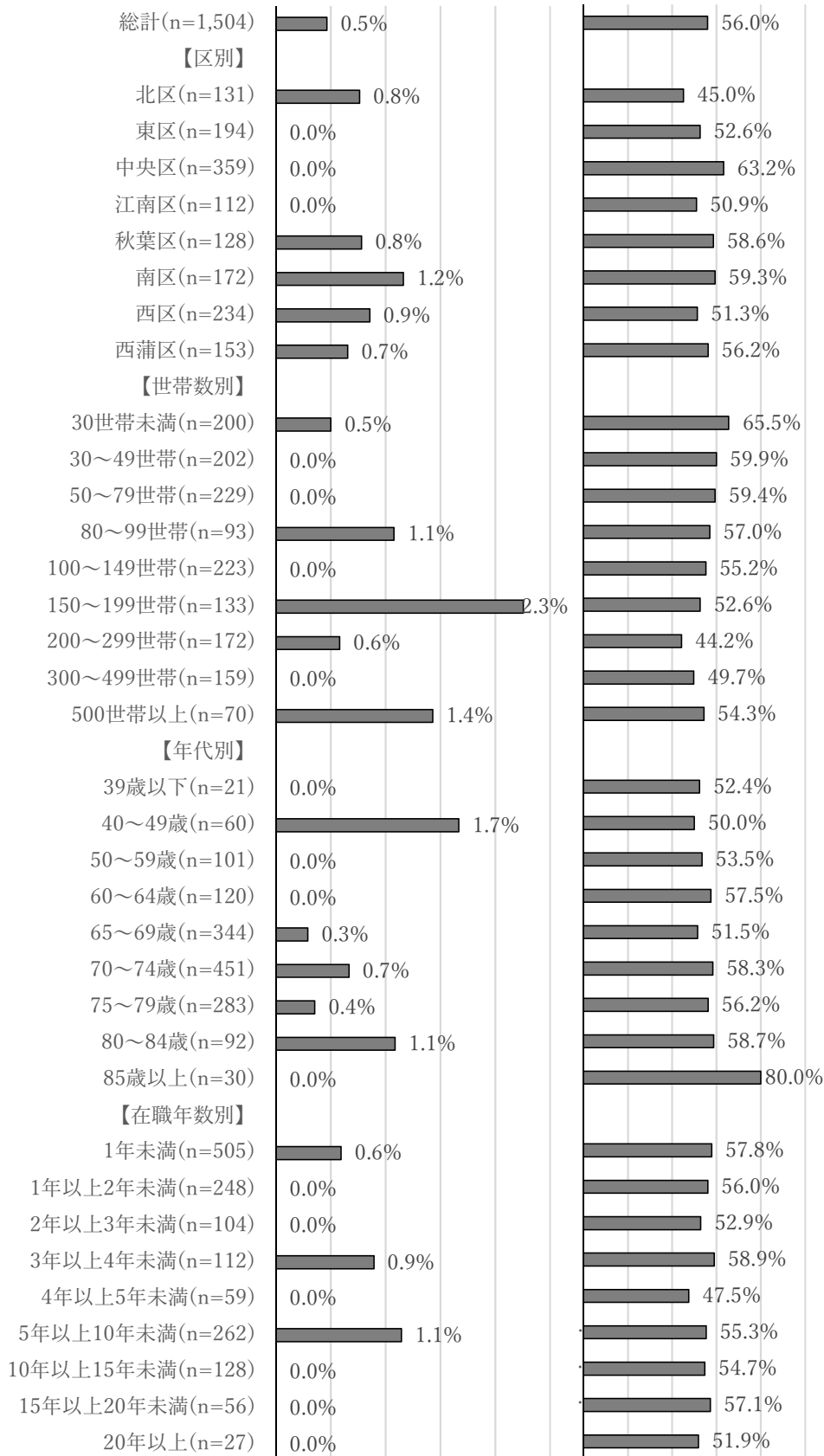
LINE

LINE以外



掲示板

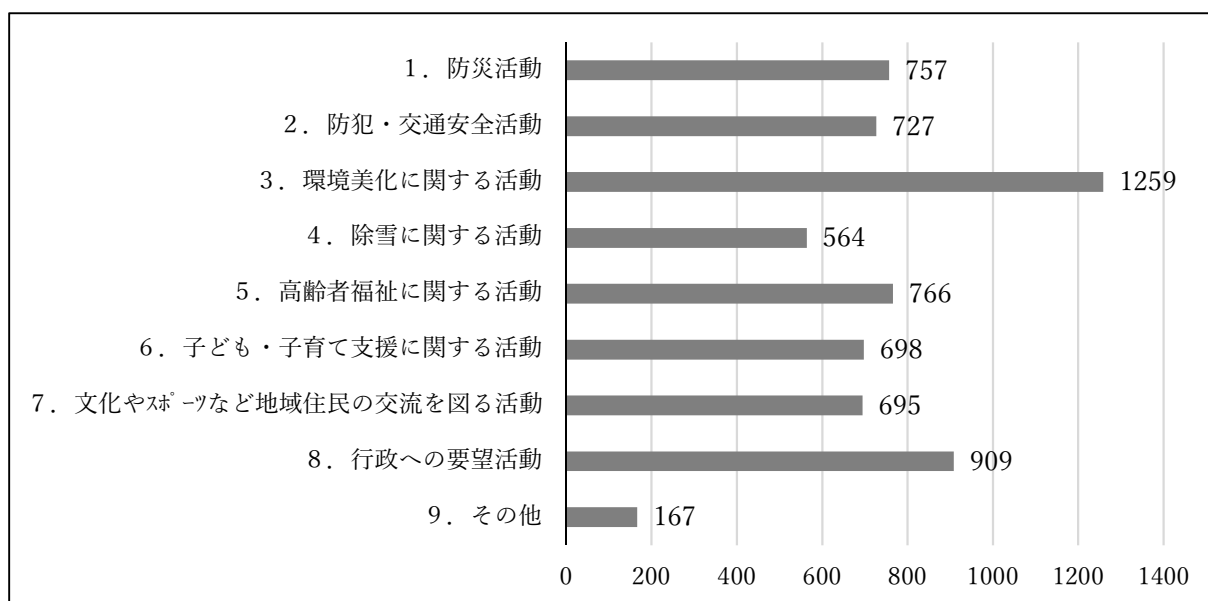
口頭



3. 自治会・町内会活動の状況について

問7. 自治会・町内会で行っている活動の現在の実施状況についてうかがいます。

1) コミ協等の他団体が実施している活動とは別に、自治会・町内会主体で実施している活動の番号すべてに○をつけてください。(実施している活動は、新型コロナウイルスをきっかけに一時休止中の活動も含みます。)



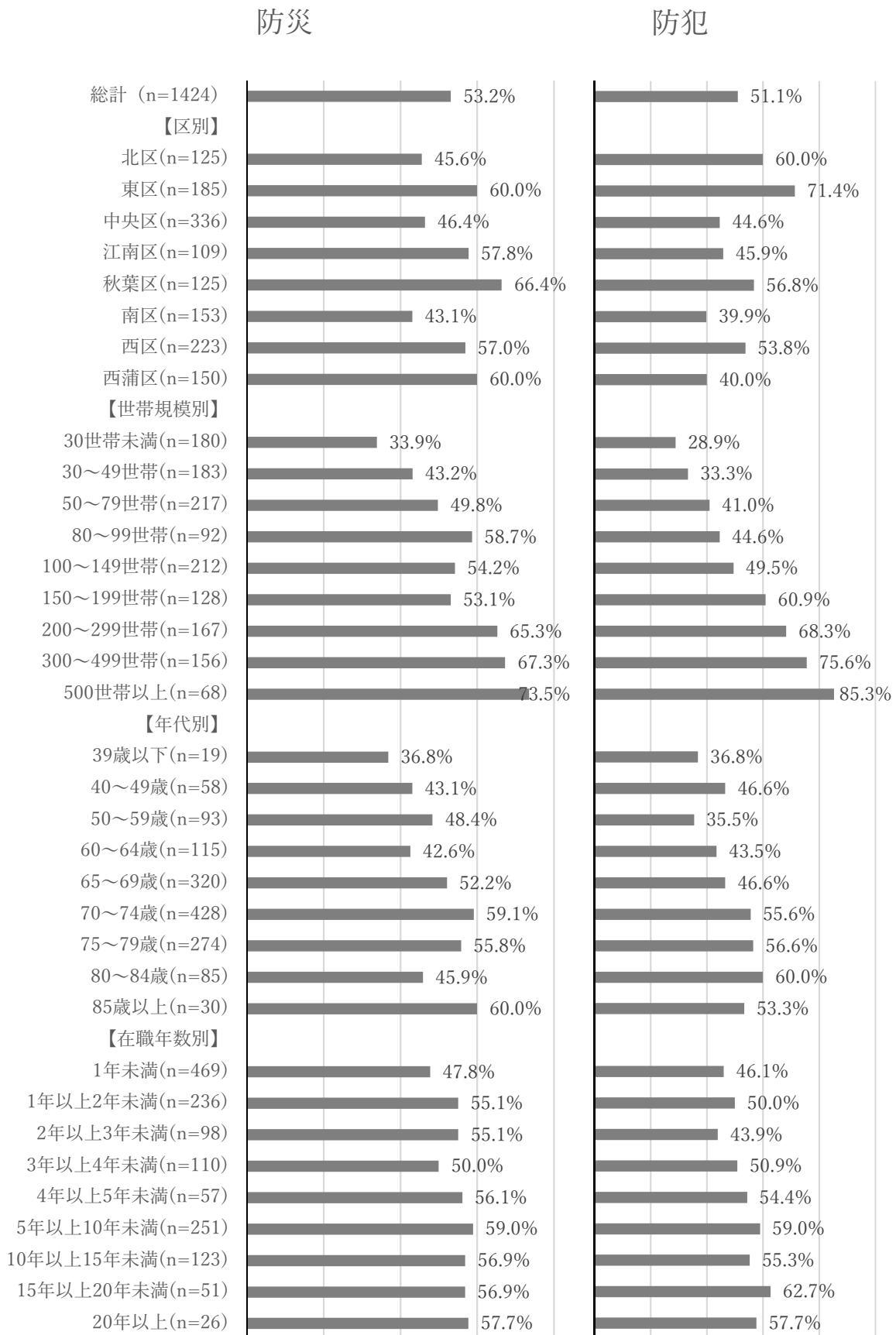
【全体結果】

自治会・町内会活動の状況について、「環境美化に関する活動」(1,259件)が最も多かった。次いで、「行政への要望活動」(909件)が続き、他の活動には、大幅な差は見られなかった。

【属性別結果】(図8参照)

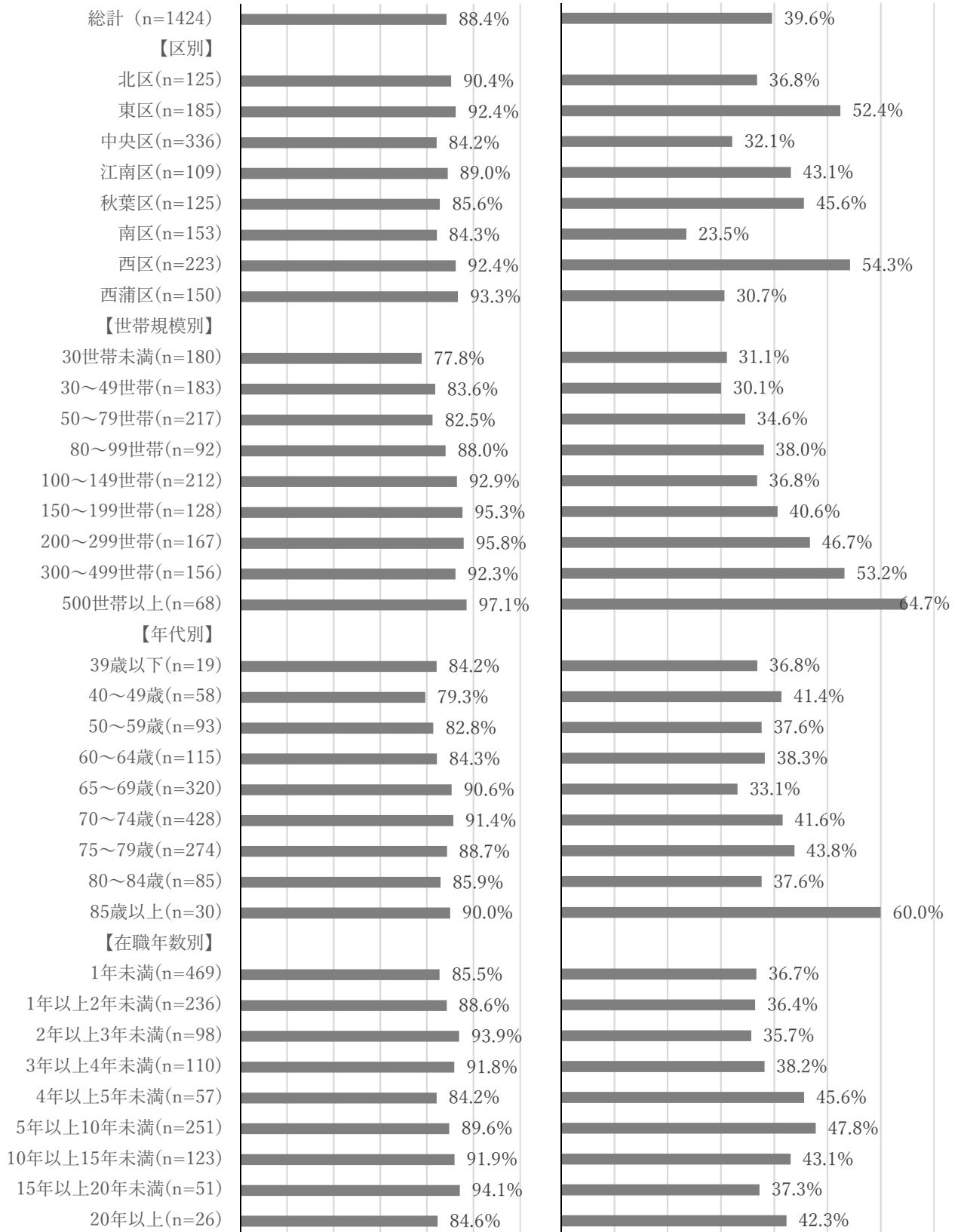
すべての属性で「環境美化」が最も多い

图 8



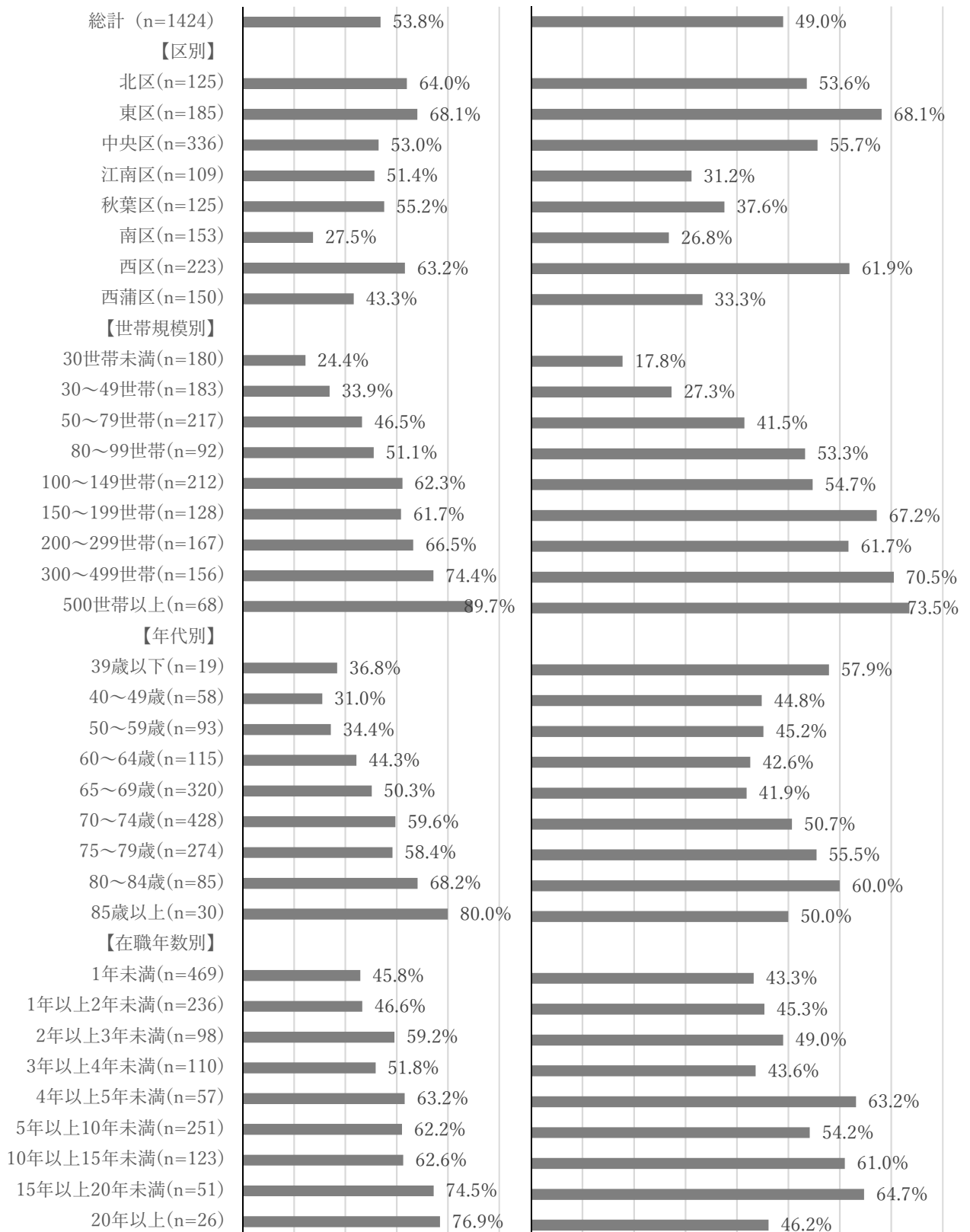
環境

除雪



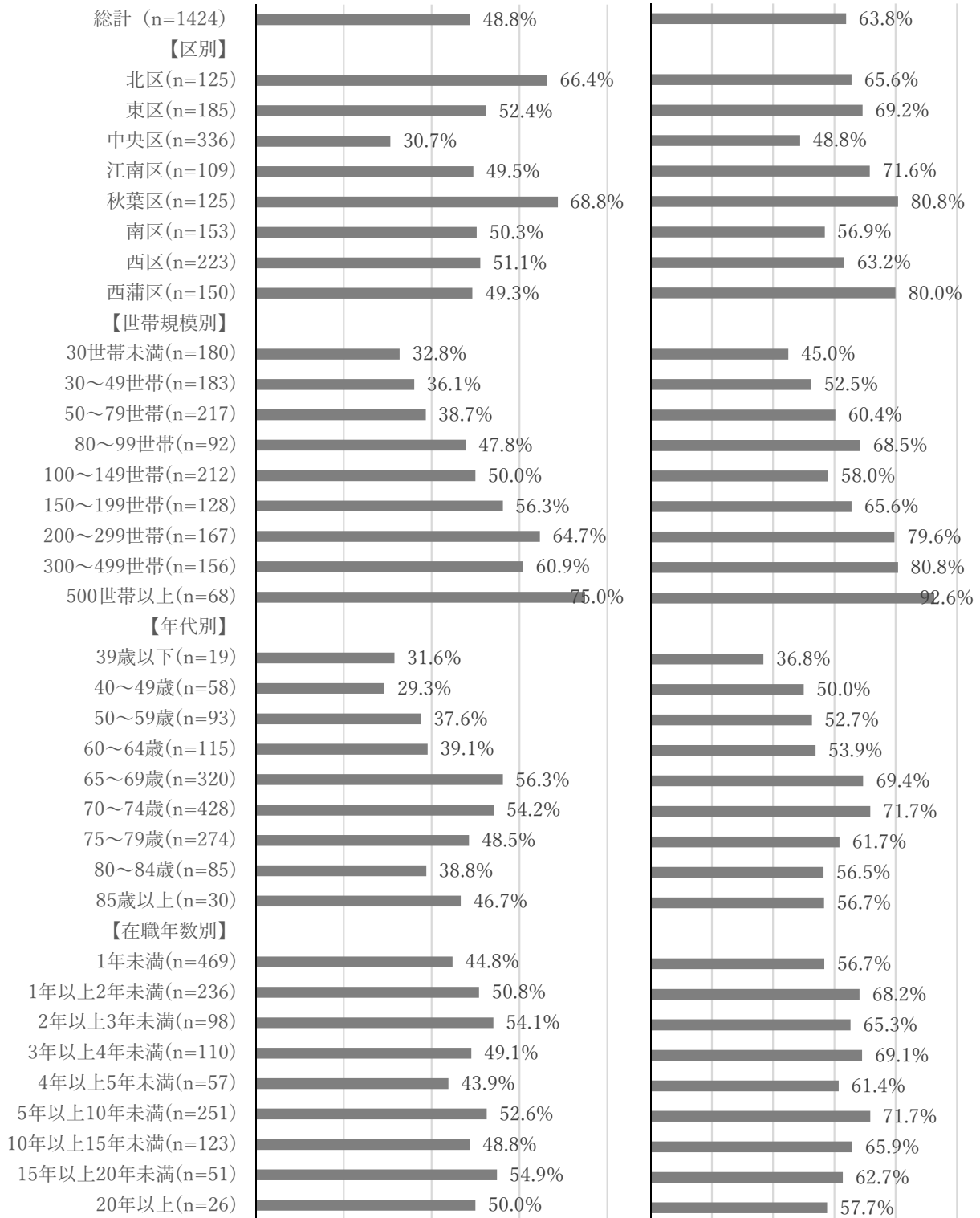
高齢

子ども

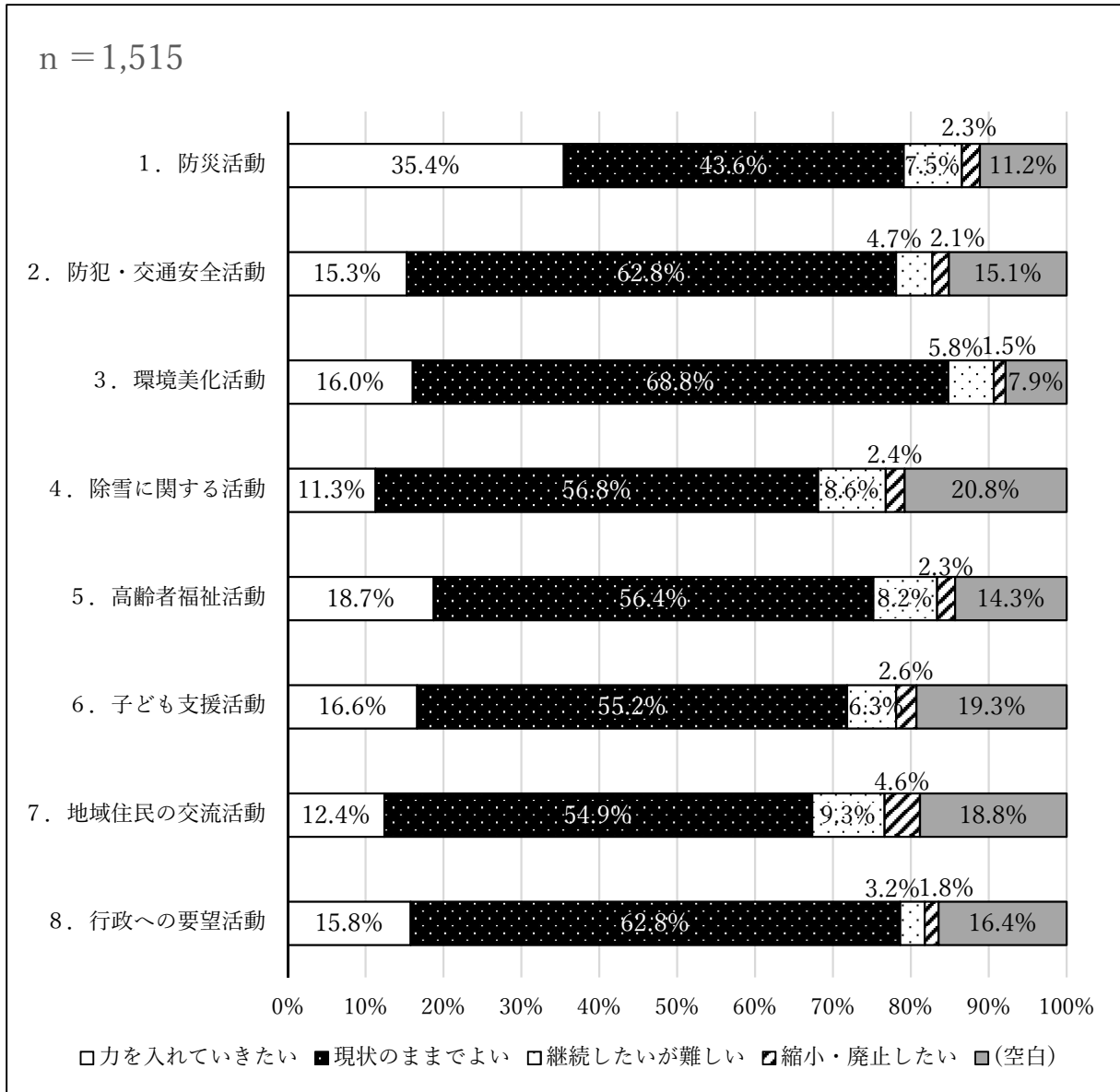


文化

要望



問7. 自治会・町内会で行っている活動の現在の実施状況についてうかがいます。
 2) 以下の活動について、今後の方向性をどのようにお考えですか？該当する回答欄に○をつけてください。(回答は会長ご自身のお考えで構いません。)



【全体結果】

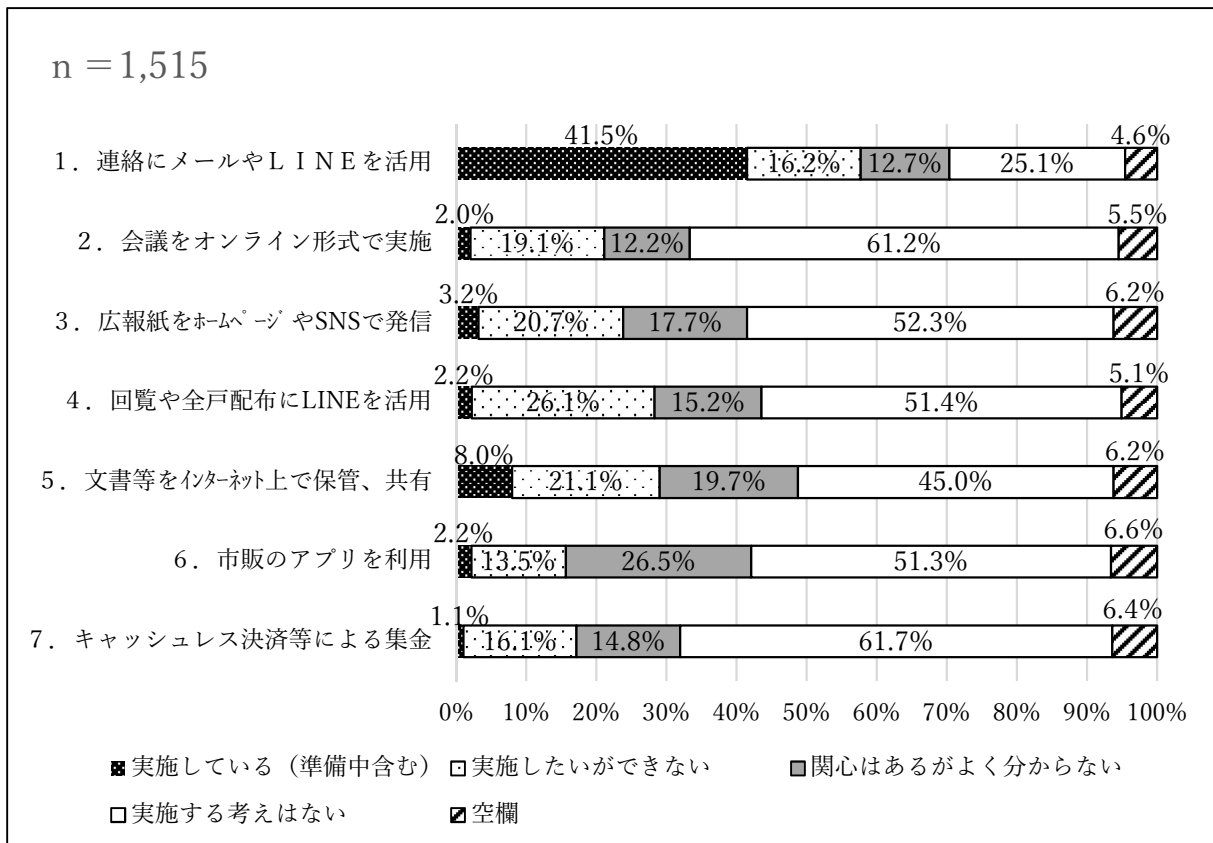
自治会・町内会で行っている活動の今後の方向性について、「防災活動」(35.4%)が最も力を入れたい活動となった。他の活動では、どの活動も総じて「現状のままでよい」との回答が、半数以上で、最も多くの割合を占めた。

【属性別結果】

すべての属性で「現状のままでよい」が一番多い。(図略)

問8. 自治会・町内会の運営におけるインターネットやスマートフォンなどのデジタル機器の利用等についてうかがいます。(回答は会長ご自身のお考えで構いません)

1) 自治会・町内会における取り組み状況や意向について、項目ごとに回答欄に○をつけてください。



【全体結果】

自治会・町内会における取り組み状況や意向について、「連絡にメールやLINEを活用」(41.5%)が、最も実施している割合が多く4割を超えた。最も関心が高かったのは「市販のアプリを利用」(26.5%)で、4分の1以上となった。最も実施する考えがなかったのは「キャッシュレス決済等による集金」(61.7%)で、6割を超えた。そのほかは、どの取り組みも総じて、「実施する考えはない」が、最も多くの割合を占めている。

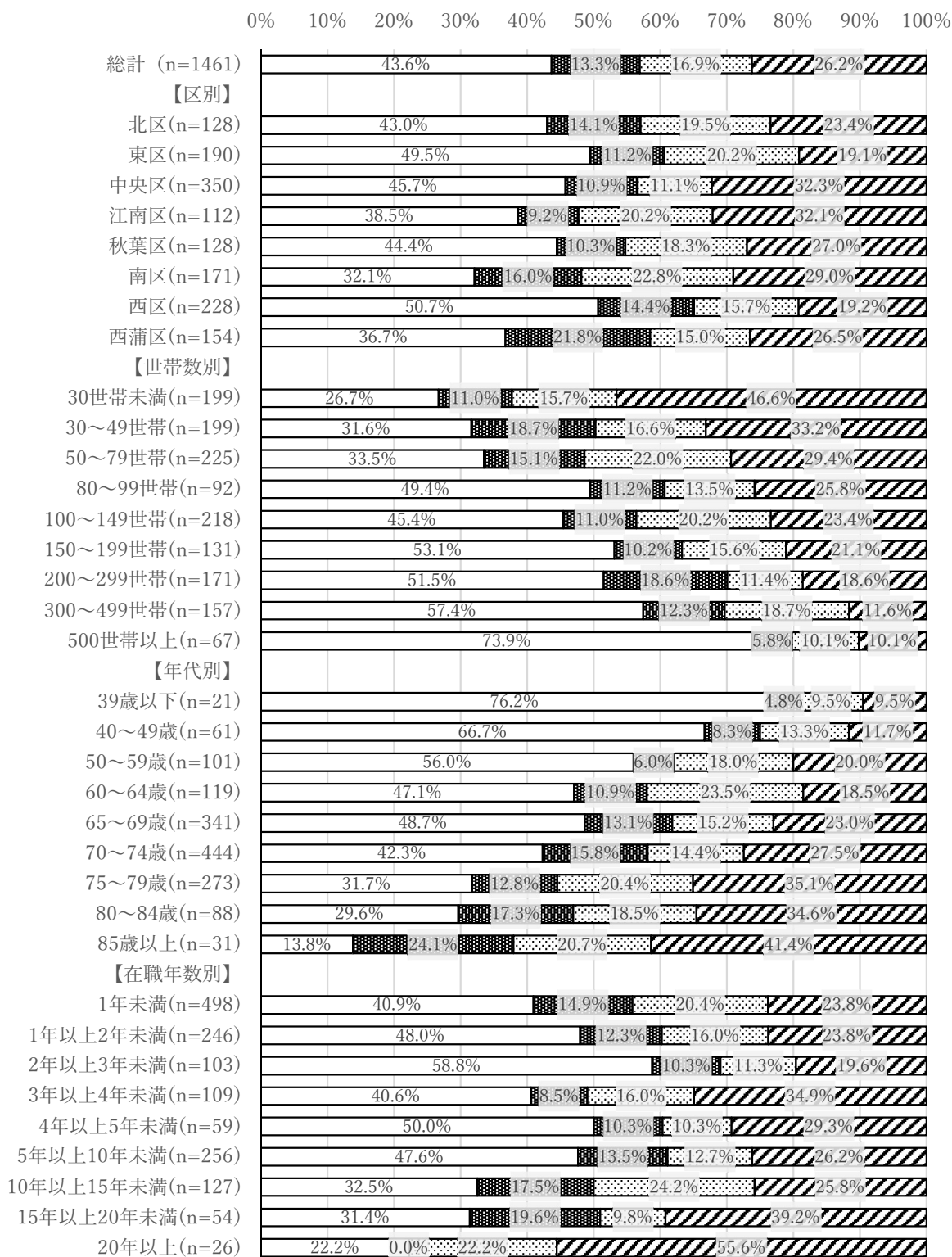
【属性別結果】(図9参照)

「連絡にメールやLINEを活用」に「実施している(準備中含む)」と回答した割合は、「西区」(50.7%)、「500世帯以上」(73.9%)、「39歳以下」(76.2%)、「2年以上3年未満」(58.8%)で最も多い。世帯規模が大きくなるほど、若年層になるほど活用している割合が高い。

図9

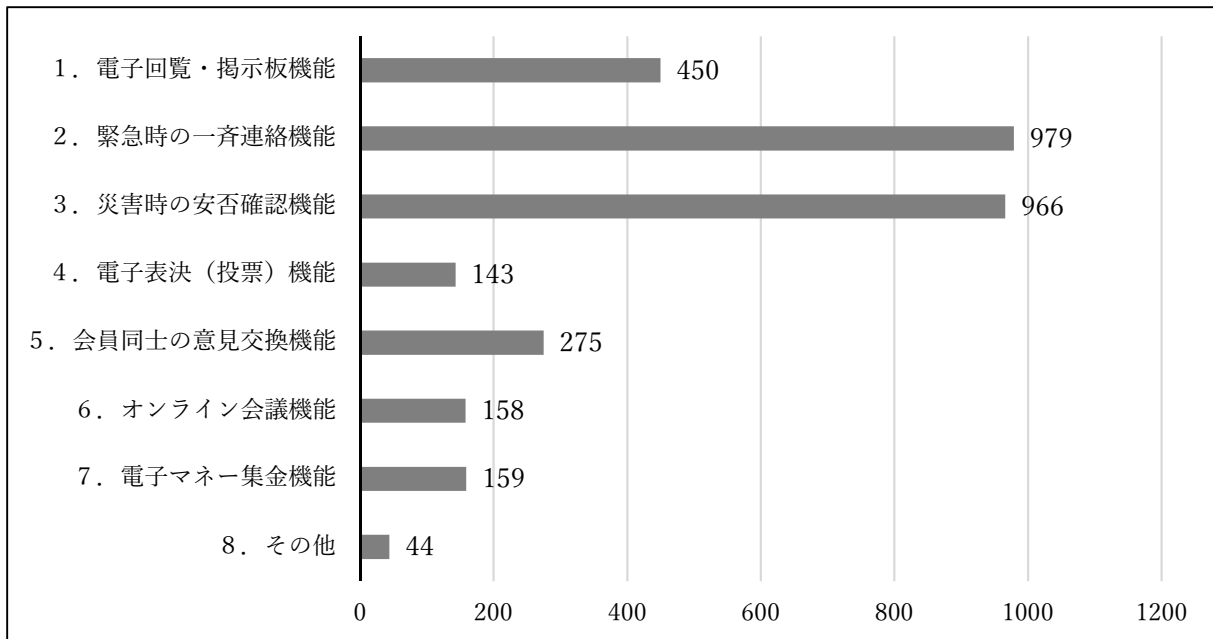
【役員どうしの連絡にメールやLINEを活用】

□実施している（準備中含む） ■関心はあるがよく分からない
 ▨実施したいができない ▩実施する考えはない



問8. 自治会・町内会の運営におけるインターネットやスマートフォンなどのデジタル機器の利用等についてうかがいます。(回答は会長ご自身のお考えで構いません)

3) 自治会・町内会の運営に活用できると思う機能、または、関心のある機能の番号すべてに○をつけてください。



【全体結果】

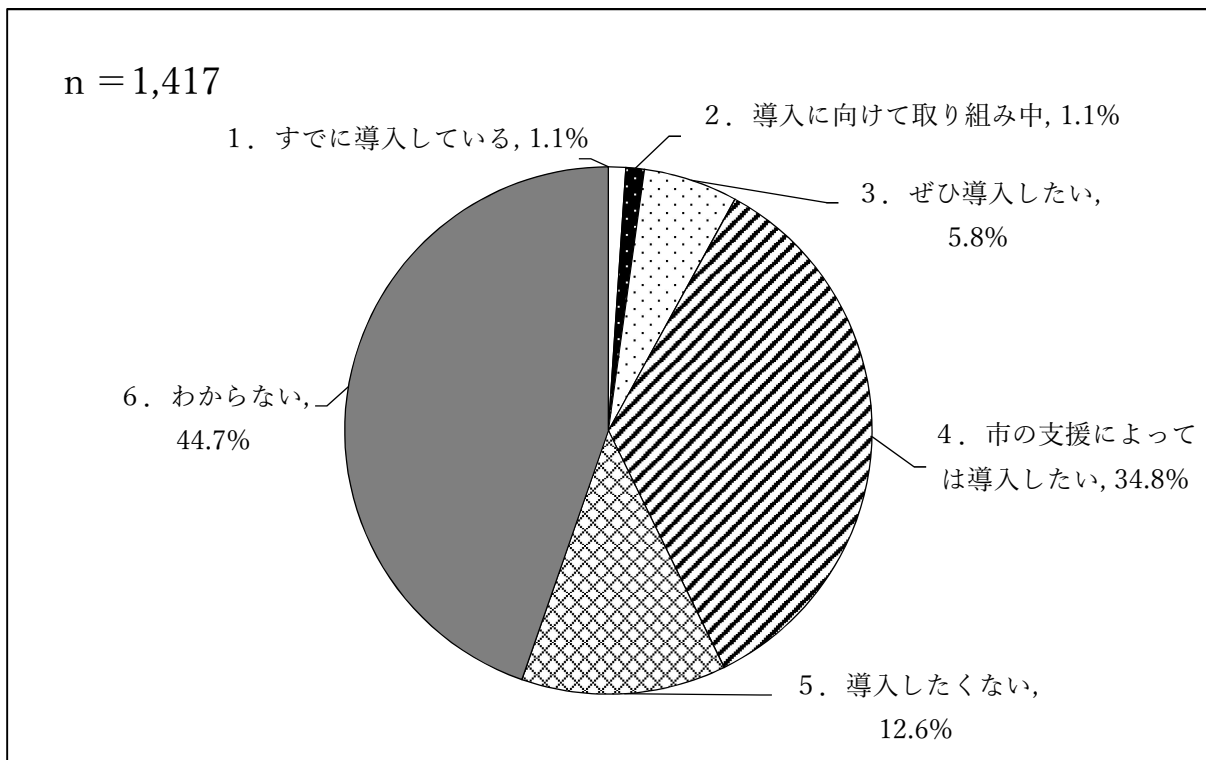
自治会・町内会の運営に活用できると思う機能について、「緊急時の一斉連絡機能」(979件)と「災害時の安否確認機能」が飛びぬけて多くの回答件数となった。ついで、「電子回覧・掲示板機能」(450件)が続き、そのほかの機能については、100件から200件台に留まった。

【属性別結果】

すべての属性で「緊急時の一斉連絡機能」「災害時の安否確認機能」が最も多い。(図略)

問8. 自治会・町内会の運営におけるインターネットやスマートフォンなどのデジタル機器の利用等についてうかがいます。(回答は会長ご自身のお考えで構いません)

4) 現在、自治会・町内会向けに様々なスマートフォン向けアプリやサービスが提供されており、独自で導入に取り組んでいる自治会・町内会もあります。このような取り組みについて、あてはまる番号に○をつけてください。



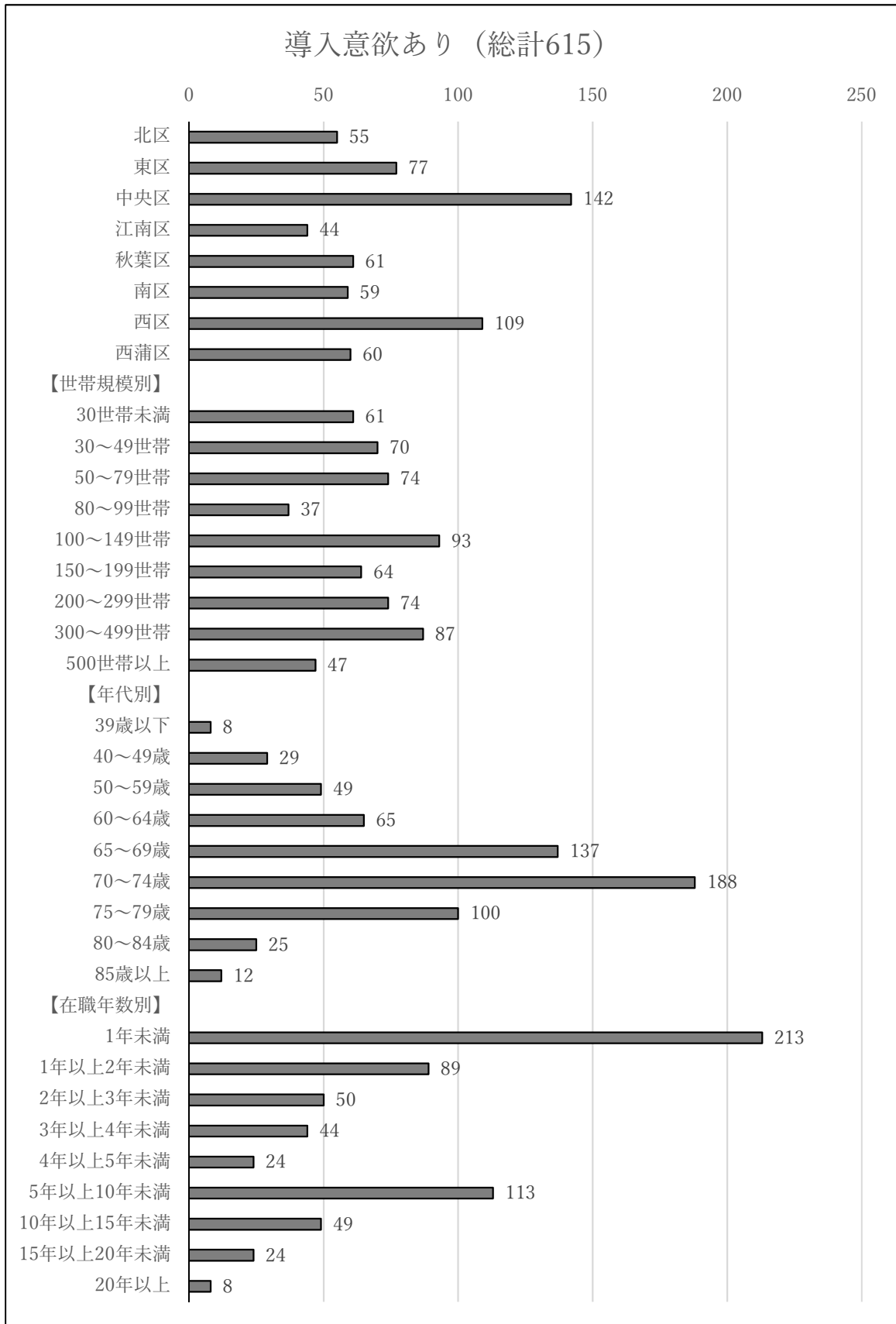
【全体結果】

最新アプリの導入について、「わからない」(44.7%)が最も多く、半数近くを占めた。一方、1～4の導入に前向きな回答の合計は4割を超え、否定的な回答は1割台に留まった。

【属性別結果】(図10参照)

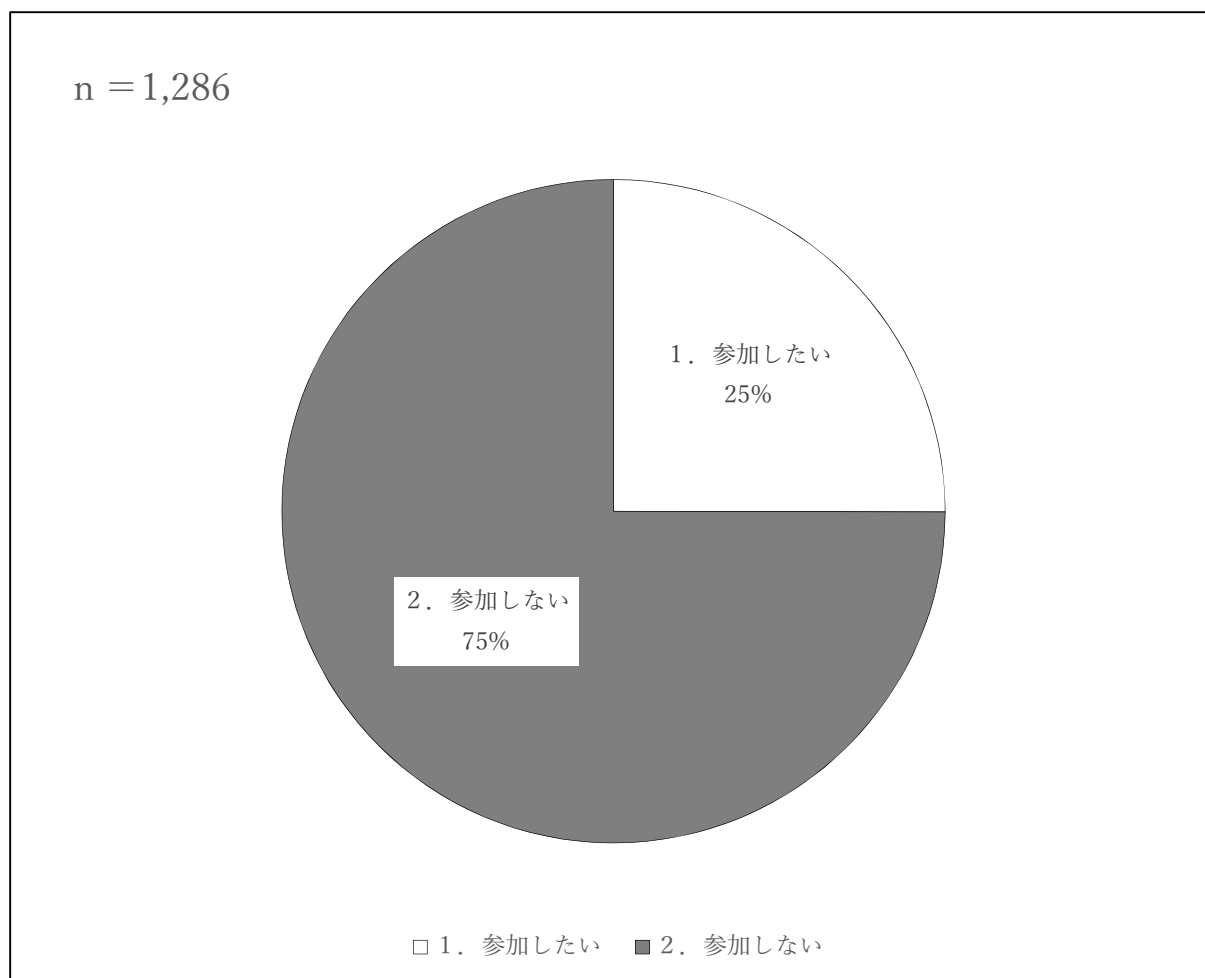
導入意欲あり(1～4と回答)したのは、「中央区」(142件)、「100～149世帯」(93件)、「70～74歳」(188件)、「1年未満」(213件)が最も多い。

図10



問8. 自治会・町内会の運営におけるインターネットやスマートフォンなどのデジタル機器の利用等についてうかがいます。(回答は会長ご自身のお考えで構いません)

9) 市がデジタル化導入支援のモデル事業に取り組む場合、参加する意向があるか、あてはまる番号に○をつけてください。



【全体結果】

モデル事業への参加について、「参加したい」(25.0%)が、回答した自治会の4分の1を占め、322自治会・町内会が参加を希望している。

【属性別結果】(図11参照)

「参加したい」と回答したのは、「中央区」(79件)、「300～499世帯」(53件)、「70～74歳」(101件)、「1年未満」(91件)が、最も多い。

図 1 1

